２０２０年度

事 業 報 告 書

自　　２０２０年　４月　１日
至　　２０２１年　３月３１日

① 法人事業報告　・・・・・・・・p　1～6
② 法人本部・事務センター 事業報告　・・・・・・・・p　7～8
③ 清風荘 事業報告　・・・・・・・・p　9～11
④ さわの風 事業報告　・・・・・・・・p 12～15
⑤ やまゆりの里 事業報告　・・・・・・・・p 16～21
⑥ じゅらく 事業報告　・・・・・・・・p 22～23
⑦ 清湖園 事業報告　・・・・・・・・p 24～28
⑧ ほろん 事業報告　・・・・・・・・p 29～37

社会福祉法人　ゆたか会

２０２０年度　社会福祉法人ゆたか会　事業報告

自　2020年　4月　1日　　至　2021年　3月31日

2020年度　理事会・評議員会　　議事審議事項

(1)理事会

開催年月日	定数 (理事6人) (監事2人) 出席者数	議　　事	決 議 (可否)	欠席者 氏 名
令和2年 6月5日	理事　5人 監事　2人	(第1回) 1. 2019年度度事業報告(案)の承認について (業務執行理事による職務執行状況報告) 2. 2019年度決算報告(案)の承認について 3. 法人内重要人事について 4. 給与規程の変更について 5. 定時評議員会の招集及び議案概要の承認について	可 可 可 可 可	理事 池田 敦子
令和2年 11月13日	理事　6人 監事　2人	(第2回) 1. 2020年度補正予算(案)の承認について 2. 各種規程の変更について (就業規則、給与規程、役割・・等級規程、運営規程) (報告事項) ・業務執行理事による職務執行状況について ・新型コロナウイルス感染症に関する経過報告について ・各拠点からの事業運営状況等の報告 ・2020年度上半期の運営状況並びに今後の見通しについて ・人材確保を目的とした外国人介護人材の雇用状況について	可 可	なし
令和3年 3月16日	理事　6人 監事　2人	(第3回) 1. 2020年度補正予算(案)の承認について 2. 2021年度事業計画(案)の承認について 3. 2021年度予算(案)の承認について 4. 定款変更について 5. 評議員会の招集及び議案概要の承認について 6. 役員賠償責任保険の加入(更新)について 7. 給与規程の改定について 8. 運営規程の改定について 9. 慶弔見舞金規程の改定について (報告事項) ・中期経営計画について ・障害者支援施設清湖園における小規模・分散化への基本方針(案)について ・是正報告について ・各拠点からの事業運営状況等の報告並びに今後の見通し	可 可 可 可 可 可 可 可 可	なし

(2)評議員会

開催年月日	定数 (7人) 出席者数	議　　事	決 議 (可否)	欠席者 氏 名
令和2年 6月25日	評議員 7人	(定時評議員会) 1. 2019年度決算報告について (報告事項) ・2019年度事業報告について ・その他	可	なし

2020年度　経営状況

(1)法人単位　資金収支・事業活動の状況

別紙　決算報告(要約報告版)参照

(2)事業運営の概況

・事業総数　33 事業

・職員総数 (3/31現在)　320 名　(採用者 27名　常勤9名、非常勤18名)
(前年比:99.4%)　(退職者 35名　常勤16名、非常勤19名)

・利用者総数　(1日当りのサービス提供延人数(概算))　(年間延 推計)

高齢者	242 名 (前年比:102.5%)	85,569 名 (前年比:108.9%)
障害者	124 名 (前年比:88.6%)	35,229 名 (前年比:93.5%)

・事業活動収入計　1,469,570,291 円 (前年比:99.1%)

拠点別の事業種別、定員等は 別紙 組織図 参照

(3)借入金の状況　(単位:円)

	法人全体	本部	さわの風	清湖園	ほろん
当初借入金額	400,000,000	50,000,000	200,000,000	80,000,000	70,000,000
2020年度当初借入残高	280,263,000	50,000,000	147,784,000	23,940,000	58,539,000
2020年度元金償還額	**65,882,000**	**50,000,000**	**9,048,000**	**3,990,000**	**2,844,000**
2020年度借入金額	40,000,000	40,000,000	0	0	0
2020年度末借入残高	254,381,000	40,000,000	138,736,000	19,950,000	55,695,000

(4)その他

・年次有給休暇の取得状況について

(単位:日)

	所属人数	前年度からの繰越日数	付与日数	使用計
常勤職員	170	2815	3179	1947
契約職員・嘱託職員	19	216.5	325	288.75
パートタイム職員	90	695	1091	810.25
合計	**279**	**3726.5**	**4595**	**3046**
取得率				**66.3%**

＊年5日の時季指定義務

職員2名について年5日を満たしていない。
常勤職員1名(年間取得日数:4．5日)、パートタイム職員1名(年間取得日数:4日)

労働基準法第39条第7項に違反、労働基準法第120条の罰則規定(30万円以下の罰金)

ゆたか会 事業収入状況　　2021年 3月31日現在

清 風 荘	2016年度事業収益（平成28年度）	2017年度事業収益（平成29年度）	2018年度事業収益（平成30年度）	2019年度事業収益（令和元年度）	2020年度事業収益（令和2年度）
施設＋ショート	394,995,451	380,570,132	402,507,169	417,922,454	428,585,733
デイサービス	42,041,294	34,626,298	26,040,358		
合　計	437,036,745	415,196,430	428,547,527	417,922,454	428,585,733
当期活動増減差額	12,853,125	△16,051,014	△7,788,391	△21,159,549	19,325,282

さわの風	2016年度事業収益	2017年度事業収益	2018年度事業収益	2019年度事業収益	2020年度事業収益
施設＋ショート	126,774,729	127,841,124	136,885,678	137,818,459	145,012,164
小規模多機能型居宅介護	36,193,856	34,500,715	37,782,871	34,155,839	30,606,741
合　計	162,968,585	162,341,839	174,668,549	171,974,298	175,618,905
当期活動増減差額	△22,130,803	△24,867,912	△20,106,182	△26,620,695	△26,307,657

やまゆりの里	2016年度事業収益	2017年度事業収益	2018年度事業収益	2019年度事業収益	2020年度事業収益
施設＋ショート	228,675,691	242,659,731	247,270,262	238,778,421	242,604,025
デイサービス	30,661,736	29,946,422	27,348,290	24,747,747	21,317,137
ホームヘルプ	14,573,394	15,946,508			
居宅介護支援	5,401,180	5,837,490	5,607,730	6,115,960	6,025,210
合　計	279,312,001	294,390,151	280,226,282	269,642,128	269,946,372
当期活動増減差額	112,948	2,334,516	2,715,920	△10,326,925	1,760,178

ケアハウスじゅらく	2016年度事業収益	2017年度事業収益	2018年度事業収益	2019年度事業収益	2020年度事業収益
ケアハウス	32,664,398	30,424,792	31,820,563	34,635,772	34,946,570
当期活動増減差額	1,217,342	△2,379,432	△97,037	3,233,147	2,210,002

清 湖 園	2016年度事業収益	2017年度事業収益	2018年度事業収益	2019年度事業収益	2020年度事業収益
施設＋ショート＋日中一時	148,371,743	157,999,631	148,538,703	145,876,567	146,201,371
生活介護	252,963,171	242,998,231	251,611,313	252,840,227	245,934,386
合　計	401,334,914	400,997,862	400,150,016	398,716,794	392,135,757
当期活動増減差額	15,296,720	74,026,830	65,326,164	43,733,005	13,456,843

在宅福祉サービスほろん	2016年度事業収益	2017年度事業収益	2018年度事業収益	2019年度事業収益	2020年度事業収益
就労継続支援B型	36,725,487	38,079,857	38,859,841	41,304,344	40,592,310
就労移行支援･定着支援	17,468,110	26,685,036	21,917,618	16,143,147	8,809,656
ホームヘルプ	39,307,930	45,427,513	48,181,079	50,645,507	52,737,887
居宅介護支援	4,126,680	6,757,780	7,676,410	7,240,510	7,546,030
その他事業	31,167,249	31,567,573	31,421,154	35,976,868	37,795,626
合　計	128,795,456	148,517,759	148,056,102	151,310,376	147,481,509
当期活動増減差額	△4,674,871	5,573,105	△5,478,681	△10,631,856	3,614,965

雇用安定等事業	2016年度事業収益	2017年度事業収益	2018年度事業収益	2019年度事業収益	2020年度事業収益
雇用安定等事業	13,437,099	17,652,694	17,169,320	17,713,372	16,365,400
当期活動増減差額	9	3	4	2	11

総事業収入計（本部拠点除く）	1,455,549,198	1,469,521,527	1,480,638,359	1,461,915,194	1,465,080,246
当期活動増減差額（本部拠点含む）	62,528,112	45,096,111	42,808,647	△3,127,170	18,407,724

待機者の状況

清風荘				さわの風				やまゆりの里				清湖園			
市町名	男	女	計	市町名	男	女	計	市町名	男	女	計	市町名	男	女	計
大津市	1	5	6					大津市		1	1	大津市	11	4	15
草津市			0					草津市			0	草津市	3		3
守山市	1	1	2					守山市			0	守山市	3	1	4
栗東市			0					栗東市			0	栗東市	4		4
野洲市			0					野洲市			0	野洲市	3		3
甲賀市			0					甲賀市			0	甲賀市	1	2	3
湖南市			0					湖南市			0	湖南市	5	1	6
東近江市			0					東近江市			0	東近江市	3	1	4
近江八幡			0					近江八幡			0	近江八幡	3		3
安土町			0					安土町			0	安土町			0
日野町			0					日野町			0	日野町	2		2
竜王町			0					竜王町			0	竜王町			0
彦根市			0					彦根市			0	彦根市	3	2	5
豊郷町			0					豊郷町			0	豊郷町			0
甲良町			0					甲良町			0	甲良町	1		1
多賀町			0					多賀町			0	多賀町			0
愛荘町			0					愛荘町			0	愛荘町	1		1
米原市			0					米原市			0	米原市	3		3
長浜市	3	1	4					長浜市			0	長浜市	6	6	12
マキノ町	6	7	13	マキノ町	6	4	10	マキノ町	1		1	マキノ町	1	1	2
今津町	10	24	34	今津町	4	5	9	今津町	3	3	6	今津町	1	1	2
朽木	1	1	2	朽木		1	1	朽木	3	3	6	朽木			0
安曇川町	10	13	23	安曇川町	2	3	5	安曇川町	7	15	22	安曇川町	1	1	2
高島町	5	8	13	高島町	1		1	高島町	4	2	6	高島町			0
新旭町	14	11	25	新旭町	5		5	新旭町	6	6	12	新旭町		1	1
他府県	2	4	6	他府県			0	他府県	1		1	他府県		1	1
合　計	53	75	128	合　計	18	13	31	合　計	25	30	55	合　計	55	22	77

改正社会福祉法　第55条の2第1項に基づく「社会福祉充実残額」について

・2020年度決算数値において、
　社会福祉充実残額（余裕財産）は発生しない。（下記のとおり）

①活用可能な財産　＝　874,791,037 円

項　目	金　額
資産(a)	2,847,645,735
負債(b)	563,974,871
基本金(c)	335,269,573
国庫補助金等特別積立金(d)	1,073,610,254
合計(a－b－c－d)	874,791,037

②社会福祉法に基づく事業に活用している不動産額　＝　165,055,751 円

項　目	金　額	
財産目録における貸借対照表価額(a)	1,780,449,620	
対応負債合計(b)	255,696,988	※
対応基本金(c)	286,086,627	※
国庫補助金等特別積立金(d)	1,073,610,254	
合計(a－b－c－d)	165,055,751	

③再取得に必要な財産　1,061,772,513 円

項　目	金　額
将来の建替費用(a)	375,336,502
大規模修繕に必要な費用(b)	220,809,694
設備・車輌等の更新に必要な費用(c)	465,626,317
合計(a＋b＋c)	1,061,772,513

④必要な運転資金　346,262,024 円

項　目	金　額
年間事業活動支出　1,385,048,096円　3ヶ月分	346,262,024

⑤控除対象財産計（②＋③＋④）　＝　1,573,090,288 円

⑥社会福祉充実残額（余裕財産）（①－⑤）　△ 698,290,000 円

※内訳

②社会福祉法に基づく事業に活用している不動産額

(b) 対応負債合計	255,696,988 円
1年以内返済予定設備資金借入金	15,882,000 円
1年以内返済予定リース債務	2,640,984 円
設備資金借入金	198,499,000 円
リース債務	38,675,004 円
(c) 対応基本金	286,086,627 円
第1号基本金	283,086,627 円
第2号基本金	3,000,000 円

報告事項

職務執行状況報告書　２０２０年度（下半期）

定款第１７条第３項の規定に基づき、理事長及び業務執行理事の職務執行状況について、下記のとおり報告する。

１、理事長

適宜、事務局から報告を受け、理事長専決規程及びその他関連規程に基づき、次の職務を行った。

2020年 10月	10月1日	・２０２１年度新規学卒内定者へ内定証書を授与
	10月19日	・外国人介護福祉士留学生への奨学金貸与及び管理契約をAOIKEエンタープライズ株式会社と締結
	10月26日	・やまゆりの里の令和２年度修繕予算要望書を高島市へ提出
	10月27日	・第６期高島市障がい者計画･障がい福祉計画策定委員会へ出席
	10月30日	・令和２年度滋賀県新型コロナウイルス感染症緊急包括支援従事者慰労金の交付申請を滋賀県へ提出
11月	11月13日	・第２回理事会を招集（２０２０年度補正予算､各種規程の変更）
	11月27日	・令和２年度滋賀県新型コロナウイルス感染症緊急包括支援感染症対策支援の交付申請を滋賀県へ提出
12月	12月9日	・令和２年度介護職員初任者研修に関する指定介護員養成研修事業実績報告を滋賀県へ提出
	12月15日	・特定技能外国人支援委託契約を株式会社オノデラユーザーランと締結
	12月15日	・第６期高島市障がい者計画･障がい福祉計画策定委員会へ出席
	12月10日	・令和２年度滋賀県新型コロナウイルス感染症緊急包括支援従事者慰労金を当該従事者へ給付
	12月23日	・ケアハウスじゅらく浴室改修工事契約を杉橋建設株式会社と締結
2021年 1月	1月4日	・男女雇用機会均等法に関する是正報告書を滋賀労働局へ提出
	1月8日	・高島市による働き暮らし応援センター委託事業に関する監査に立会
	1月12日	・令和２年度永年勤続表彰式を挙行
	1月18日	・令和３年度介護員養成研修事業（介護職員初任者研修）実施計画書を滋賀県へ提出
	1月27日	・感染症発生時における職員応援派遣協定に高島市障がい者自立支援協議会会員施設として参加
2月	2月15日	・令和３年度障害者社会参加促進事業・手話奉仕員・音訳奉仕員養成事業業務計画書、予算書を高島市へ提出
	2月16日	・法人要望等解決委員会を開催
3月	3月4日	・第６期高島市障がい者計画･障がい福祉計画策定委員会へ出席
	3月15日	・滋賀労働局による雇用安定等事業に関する監査に立会
	3月16日	・第３回理事会を招集（２０２０年度補正予算、２０２１年度事業計画・予算、定款変更、評議員会の招集　他）
	3月24日	・心理的な負担の程度を把握するための検査結果等報告書(ストレスチェック)を大津労働基準監督署長へ提出

２、常務理事

適宜、事務局から報告を受け、職務分掌規程及びその他関連規程に基づき、理事長を補佐するとともに次の職務を行った。

尚、この期間決裁及び委任規程に基づく専決行為は行っていない。

通年		・運営委員会等の重要会議に出席
		・法人及び各事業所の採用面接、事業所内調整会議等に出席
		・職員の自己申告書による法人への要望等の取りまとめを実施
2020年	10月29日	・第８期高島市介護保険事業計画等作成委員会に出席
	11月13日	・第２回理事会に出席
	12月2日	・第８期高島市介護保険事業計画等作成委員会に出席
2021年	1月12日	・永年勤続表彰式に出席
	1月15日	・第１回リスクマネジメント委員会に出席
	2月16日	・要望等解決委員会に出席
	2月17日	・第８期高島市介護保険事業計画等作成委員会に出席
	3月16日	・第３回理事会に出席
	3月26日	・第２回リスクマネジメント委員会に出席

２０２１年 ３月３１日

（報告者）

社会福祉法人 ゆたか会

理事長　　杉橋　研一

常務理事　山川　恵子

寄 附 金 品　受 領　　一 覧 表

自　2020年　4月　1日　　至　2021年　3月31日

金　銭

利用者、家族

清湖園	竹中　忠利		530，000円
〃	稲田　利恵子		100，000円
さわの風	伊藤　博幸	商品券	5，000円
やまゆりの里	林　加代子		100，000円
〃	上山　基継		100，000円

その他

高島組仏教婦人会	20，000円
ビハーラ高島	10，000円

年間合計　法人全体金銭寄附受領額	865，000 円
（ 2019年度受領額合計	11，615，000円 ）
（ 2018年度受領額合計	2，465，000円 ）
（ 2017年度受領額合計	3，437，000円 ）

物　品

利用者、家族

清風荘	吉弘　安蔵	みかん　10kg
〃	林　トジ	りんご
清湖園	小柳　繁芳	白菜、大根
〃	中島　秀男	大根
さわの風	栗本　正子	米　30kg
やまゆりの里	上山　基継	米　60kg
〃	〃	加湿器、老人車
〃	前田　喜一郎	車椅子　1台
〃	山中　武	老人車　3台

個　人

川島　光男	米　45kg
田中　健	米　30kg
鳥居　庄市	米　30kg
〃	もち米　30kg

その他

今津東小学校	もち米　10kg
沢区長寿会	米　30kg
通安寺仏教婦人会	卵　308個
くれよんの会	マスク、除菌ジェル
㈱桑原組	チルトリクライニング車椅子
㈱エヌアール	防護用つなぎ　96枚
アスミル事業協同組合	フェイスシールド　150枚
匿名	玄米　30kg

２０２０年度

ゆたか会事業報告　　施設名　　法人本部・法人事務センター

	取組事項	実施状況	
法人本部	1.法人運営関係 運営委員会等	【運営委員会・GM会議】（主な協議事項） ４月　各委員会組織、特定処遇改善、期末賞与について ５月　理事会・評議員会、7月からの新体制、給与規程の変更、技能実習生の配置変更について ６月　夏期賞与の支給、新型コロナウイルス感染症対策について ７月　修繕計画、清風荘におけるパワハラについて ８月　人事異動、介護福祉士養成校（青池学園）留学生ンお受入れについて ９月　外国人材の雇用、新型コロナウイルス感染症	に係る特殊勤務手当について 10 月 ケアハウス浴室改修工事、１１月の理事会について 11 月 パートタイム職員の資格手当、法人中期計画について 12 月 令和３年報酬改定に向けての対応について １月　次年度の初任者研修、自己申告書への対応、人事異動、３月理事会の開催について ２月　給与規程・慶弔見舞金規程の改定、昇格について ３月　清湖園の定員削減について
	2.要望等解決委員会 （委員長:鎌田智恵子）	・R3．２月 16 日法人要望等解決委員会を開催。感染症予防対策の観点から、各拠点、解決責任者と受付担当者１名の参加。理事長、常務理事、担当理事、第三者委員参加のもと開催。参加者 16 名	・12 月より苦情・要望等受付（簡易版）を作成。より細やかな要望等の拾いあげに取り組んだ。 ・総受付 54 件。内、入所系 31 件。施設職員の対応に関すること 35 件と総件数の６割を占めた。
	3.リスクマネジメント委員会 （委員長：吉田和浩）	・委員会２回開催。１月 15 日・３月 26 日 （出席者　常務理事、拠点担当者 ） （内容）各拠点内での重大な事故等の共有、指針の見直し、意見交換など	・各拠点の委員会開催回数 清風荘 12 回、清湖園 12 回、やまゆりの里 12 回、さわの風１２回　（ﾋﾔﾘﾊｯﾄ随時） ・主な事故等は運営委員会等で報告と共有を行った
	4.研修委員会 (委員長：伴英治)	・法人職員の資質向上を目的とし研修の在り方、実施内容・方法を委員会協議検討した。 ①　介護職員初任者研修の開催（外部受講者３名・内部受講者５名）期間：6/3～11/25 ②　介護職員実務者研修の受講４名 ③　現任研修(中途採用)受講者 25 名(7 月、１月) ④　ﾘｰﾀﾞｰ(副主任)研修：効率的な会議の進め方を	事例検討で学ぶ(前期:5 月～9 月７名、10 月～2 月７名) ⑤　看取り研修(11 月 26 日、12 月９日 45 名) ⑥　各施設内（虐待事例、危険予知、感染症、人権）研修を実施した。 ⑦　介護初任者研修事業継続指定滋賀県指令医福第 204 号(令和３年２月 12 日指定)
	5.衛生委員会 (委員長：水野賢祐)	・産業医、委員長、各施設の衛生管理者、各施設の職場代表　合計１２名の委員で構成。毎月開催。 ４月　年度計画、新型コロナについて ５月　健康診断（延期:緊急事態宣言の為） ６月　健康診断 ７月　健康診断集計結果 ８月　衛生研修【食中毒予防、がん検診の推進について】参加者３５名 ９月　コロナ陽性者の対応報告（湖）	10 月　衛生研修【新型コロナウイルス感染症について】Zoom 併用 参加４７名 11 月　有給取得状況・ストレスチェックのオンライン実施の説明 12 月　夜勤者検診・インフルエンザ予防接種 １月　ストレスチェック実施・有給取得状況 ２月　ストレスチェック集団分析 ３月　R3 定期健康診断について
法人事務センター	1.総務係	・規程の制定及び改廃（第１回理事会：給与規程の改定、第２回理事会：就業規則、給与規程、役割等級規程、運営規程の改定、第３回理事会：定款変更、給与規程、運営規程、慶弔見舞金規程の改定） ・ＩＴ資産の管理（勤怠用サーバ・清湖園支援記録用サーバの定期更新及び R3 年度更新計画）	・災害対策 避難訓練、消火訓練（消火器・消火栓）、防災講習、救命講習（２９名） ・各種設備法定点検、日常的修繕作業、除雪作業等 ・次年度以降の大規模設備更新の検討 ・労働衛生関係：ストレスチェック、雇入れ及び定期健康診断の実施、インフルエンザ予防接種の実施
	2.人事係	・採用退職：（採用：常勤９名・非常勤 18 名、退職：常勤 16 名・非常勤 19 名） ・求人及び広報活動に外部専門員を委託し多面的な人材確保に取り組んだ ・Facebook、Instagram の活用と Youtube の動画アップにより法人の活動や高島市の魅力を伝えるよう取り組んだ	・高島市内の福祉事業を運営する法人と合同開催のＯＮＬＩＮＥインターンシップに参画した ・市及び県内の就職説明会へ延７回（オンライン開催：３回、対面式開催：４回）参加した ・今後も主流になるであろうオンライン就職説明会に向けて法人ＰＲ動画の作成を行った
	3.経理係	・情報の公開 法人の計算書類等を法人及び関係機関を利用し公開　各団体の調査等にも積極的に協力を行う ・新型コロナウイルス感染症の各事業所における感染予防対応費用について滋賀県の緊急包括支援金の助成活用を行いかかり増し経費による経営圧迫抑制に努めた	・社会福祉法人会計基準に基づく資金の組替使用の年度内清算義務に基づき 40,000 千円の短期借入金を行った ・修繕積立金として 清湖園 10,000 千円を積立（2021.3.31 累計　100,280 千円） ・目標管理活動で中期経営計画を作成した
	4.フードサービス係	・業務の標準化とサービスの向上：多職種共同の手順書を活用し、季節感のある行事食や面前調理を実施。調理師による利用者とのお菓子作りの開催 ・さわの風給食業務の効率化（業務改善と情報の共有）・栄養業務の改善と省力化（献立作成方法や各種帳票類、様式等）（看取りケアの向上：多職種連携による利用者に寄り添った食事ケアに取り組んでいる。）	・食品衛生管理法改正による HACCP 制度化の本格始動に向けて、衛生管理計画を作成。（大量調理衛生管理マニュアルから現状を見直し、改善、標準書を更新。やまゆりの里でも衛生管理の作業手順書完成。）・災害対策等（備蓄食料の継続的な在庫管理、献立使用の計画と実施。）コロナ感染症対策マニュアル等の作成。

2020 年度　法人事務センターフードサービス係事業報告

2020 年度事業実施計画である『管理栄養士・栄養士及び調理員の人材確保が困難にある現状を踏まえ、業務改善・業務省力化を図る。また、業務標準による安全でおいしい食事の提供を継続する。』、『ご利用者の「食べたい」気持ちを大事にし、疾病や感染症予防のためにも栄養状態よく過ごしていただけるように取り組む。』について、以下のとおり、報告いたします。

1. 業務の標準化

①前年度の目標管理活動で取り組んだ手順書を活かし、引き続き多職種共同で季節感のある行事食を実施することができた。しかし、2020 年度は新型コロナ感染症予防対策のため、ボランティアの応援が休止となったり、密を避け、規模を縮小したりと、今までとは少し違った形となった。お菓子作りにおいては、2020 年度の計画であった調理師による利用者とのお菓子作りを行うことができた。得意分野を発揮し、調理師ならではの趣向となった。

②食品衛生法改正による HACCP 制度化（義務化）の本格始動に向けて、一般衛生管理（原材料の管理・設備の整備・調理者の衛生および体調管理）と重要管理（加熱温度・冷却温度・盛り付け、二次汚染の防止）のための衛生管理計画の作成を 2020 年度の目標管理活動や 3S 活動で取り組むことができた。大量調理施設衛生管理マニュアルから現状を見直し、改善、標準化、標準書の更新を行った。今後は、問題の対処方法についても標準化、必要な時に役立つよう工夫していく。

③各拠点の給食業務のマニュアルを整備した。やまゆりの里でも目標管理活動で衛生管理の作業手順書を完成させた。チームワークよく業務を継続できるようマニュアルを確認しながら、ムリ・ムダ・ムラがあればその都度話し合うこととした。

さわの風でも、担当者会議の場をもち、業務改善や情報共有を行った。

2. 栄養業務の改善・省力化

① 栄養士の休職に伴い、人員減でも業務が遂行できるよう、業務を見直し、改善・省力化を行った。今までの実績を活かして、予め年間献立を作成しておき、献立作成にかかる時間を短縮、各種帳票類やその様式等を点検、無駄を省き業務改善を行った。

②ソフト食の味や食べやすさの改善

常食をソフト食に加工した時、ソフト食には不向きなもの（ミキサー機で撹拌した際に、酸味や苦み等が強調されたり、食材によって粘りが強くなったりするもの）がないか見直し、向かないものは別の献立（ムース等）に変えた。

② 看取りケアの向上

最期の時まで心穏やかに過ごしてもらえるよう、引き続き、多職種連携による利用者に寄り添った食事ケアに取り組んだ。どの施設も看取りケアが行われ、それぞれの状況に合った対応が必要で、看取り期が長期にわたることやとても短い時もあり、それぞれ考え方も違い、難しく尊い。日常から多職種連携のもと、利用者に寄り添うことを大切にしていきたい。

3. 災害等（非常時）の対策と地域貢献

2020 年度は、新型コロナ感染症予防対策のため、非常食は年次計画より早めに仕入れ、予防や発生時のマニュアル作成等を行った。次年度は BCP 計画・訓練を行っていく。

2020 年度ゆたか会事業報告　　施設名　特別養護老人ホーム　清　風　荘

【定員】入所 90 名　短期入所 20 名　　【職員】常勤 61 名・契約 9 名・非常勤 23 名　合計 93 名（常勤換算 75.7 名）

	取組事項	実施状況	
施設運営	1. 介護給付費	・特養一稼働率 95.7%（前年度 92.0%+3.7P） 理由-①退所者１１名（前年３９名）と少なく、また入所をスムーズに行えたことにより前年より稼働率向上につながった。入院日数（延べ 581 日）	・短期入所一稼働率 65.6%（前年度 74.8%-9.6P） 理由①前年度末からの６月にかけてコロナウイルス関連の影響と老健利用延長や入院でのキャンセル等もあり稼働率低迷があった。
	2. サービスの質 職員の資質向上	・利用者入退院支援に係る病院との合同研修会の参加（介護支援専門員２名） ・看取り介護研修一事例検討GWを実施（２回計 45 名参加） ・介護職員初任者研修２名・実務者研修通学講習１名（介護福祉士資格取得２名） ・さわの風技能実習生２名が７月から清風荘に異動	・外部研修(リモート)-認知症介護実践者研修２名受講・認知症介護基礎研修（2 名） ・職場の活性化・業務の効率化を図るため目標管理活動に取組んだ。 ・各種委員会活動による支援の強化（リスクマネジメント、身体拘束、虐待防止、排泄・褥瘡対策、感染症対策、広報、サービス向上）
	3. 要望等解決	・苦情要望受付票を作成し、日常の細かい要望等を拾い上げられるようにした結果、前年度１件から今年度 10 件と増加した。	・手紙には、いい事だけでなく、悪い事も事実をきちんと書いてほしい。現状をきちんと伝えてほしいとの意見があり、手紙のダブルチェックを行った。
	4. 地域貢献等の促進	・市ケ崎区、清湖園、今津病院と共催でのふれあい交流会は中止（コロナの為） ・フリースペースを「命の第九」事務局として貸与	・子供の居場所づくりフリースペース「ゆったり」を毎水曜日に実施（中３小３、２名）
	5. 防災訓練	・滋賀県小規模法人ネットワーク化協働推進事業（高島市介護サービス事業者協議会）のモデル施設として事業所ＢＣＰ手引書作成 ・年間防災訓練計画に基づき、避難訓練２回（夜間	想定２回）防災設備取扱講習会（２回８名）消火訓練４回（消火器９名、消火栓 12 名）夜間通報訓練１回、BCP 防災訓練１回(12 名) ・消防設備点検２回、
	6. 環境美化 保健衛生.	・感染症対策として除菌洗浄水による施設内殺菌消毒加湿器設置 ・新型コロナウイルス対策-①職員の出勤前、出退勤時の検温、マスク着用　②面会制限と外出自粛	③業者の生活階への立入禁止④定期的換気の放送等を実施 ・職員の健康診断実施・３S活動による整理整頓の継続 ・インフルエンザ予防接種（81 名）を実施。 ・紫外線空気清浄器、低濃度オゾン発生装置の設置
	7. 在宅支援等	・短期入所生活介護では、地域の担当ケアマネジャーとの連携を密にし、在宅ケアプランと短期入所生活介護計画の整合性を取りつつ、利用者援助を行った	・利用者の方からの要望に応え日中の時間が少しでも充実するように、レクレーション等を工夫し実施。
	8. 人材育成	・法人リーダー研修を実施（前期・後期４名） ・法人研修―現任研修短期コース（２回開催　計５名）	・施設内研修―人権研修・虐待防止研修、感染症対策研修、褥瘡対策実技指導研修等を開催
	９.人権活動の推進	・外部機関開催の人権に関する研修に参加 ・高齢者虐待防止研修会の参加（２名）	・人権研修（虐待防止研修含む）視覚教材を活用し実施した。全職員対象で実施。
	10.実習の受入れ	・若狭医療福祉専門学校１名９日間実習・例年の堅田看護専門学校についてはコロナ感染予防のため受け	入れ中止。またその他の実習受入れについても中止。
	11.施設整備･ 備品等更新	・天井走行リフト、リモコン修繕（732 千円）・車椅子用体重計（196 千円）・電動ベッド２台（454 千円）・ウエットバキューム（137 千円）・２階３階カウンター内エアコン購入（335 千円）・浴室用排熱ダクトエアコン２台（109 千円）・栄養給食用 PC（233 千円）・	・LAN 環境、幹線敷工事（959 千円））・厨房前床面修繕（105 千円）・浴室換気扇取替工事（242 千円）・厨房設備等修繕（105 千円）・１階洗濯室洗濯機撤去（231 千円）・汚水配管修繕工事（231 千円）・室外機基板他修理（126 千円）・光触媒コート剤他（180 千円）
利用者サービス	１.生活支援･個別支援	・目標管理活動の「利用者に寄添い」を実践して少しでも時間のある時に関わりが持て記録に反映出来た。利用者の方を常に見ている、意識している、という職員の意識がたかまった。 ・少しでも利用者個人に目が向けられるように職員の意識変化を求める為、ケアプランの評価表及びアセスメントシートの記入やカンファレンスの参加を担当職員に位置付けた。 ・令和２年度に策定した看取り介護指針に基づき、看取り介護研修を実施した。 ・看取り後には、ご家族や職員へアンケートにて聞き	取りし振り返りをした。デスカンファレンスは通常のカンファレンス時に組み込み、４回開催出来た。 ・ケアカンファレンスの開催 204 件（内入所前カンファレンス 11 件、家族参加（後見人含む）24 件、本人参加０件、看取り 15 件、振り返り４件） ・褥瘡に関しては、毎月実施している委員会と連携し、早期発見・早期対応に努めた ・作業療法士による週１回集団リハビリの実施。延べ 898 名機能評価と個別リハビリ（12 名）を実施し、機能維持に努めた ・今津病院言語聴覚士による食事姿勢の評価と指導　24 名
	２. 健康管理	・今津病院嘱託医との連携の下、急変や体調不良の早期発見に心がけ、健康管理、疾病治療において適切な医療サービスを受けられるように努めた ・施設での看取りを希望された利用者 11 名の終末期ケアを行った。内２名の方については、ご自宅へ帰られ家族の関わりの中で最期を迎えられた。 ・肺炎球菌ワクチン予防接種-4 名〈希望者〉	・定期健康診断-5～6月に 84 名、入所時健康診断 11 名 ・インフルエンザ予防接種-81 名に実施。 ・新型コロナ感染症対策にも努め、手洗いの徹底、マスクの常時の着用を行い、感染防止を図った。 ・歯科衛生士による口腔ケアを週２回実施し、口腔機能の向上に取り組んだ　・リラクゼーショントレーナーによる拘縮、浮腫の軽減を週１回実施
	３. 食の提供	・前年度の目標管理活動で取り組んだ手順書を活かし、多職種共同で季節感のある行事食を実施。新型コロナ感染症予防対策のため、２回中止となったが、密を避け、規模を縮小し、今までとは少し違った形で、利用者満足度の向上を目指し、利用者の要望を聞きながら面前調理（５回）や行事食（７回）を行った。	・食品衛生法改正による HACCCP 制度化に向けて、衛生管理計画を作成。大量調理衛生管理マニュアルから現状を見直し、改善、標準化した。 ・新型コロナ感染症予防マニュアル、発生時マニュアル等を検討、作成。 ・看取り期の食事ケアに引き続き取り組んでいる。
	4. 主な行事実施状況	・秋祭りを 10 月に開催、コロナ感染予防のため密にならないように２回に分け開催した。 ・餅つきも同じく 12 月に２回に分け開催した。	・各グループでの誕生会や季節行事、リクレーションの実施 ・喫茶ささなみ　月２回開催、対象を分けて実施
	5. ボランティア	・今津民生委員（車椅子清掃１回） ・広瀬仏教婦人会、高島仏教婦人会、高島仏教会	かざぐるま、コスモス、フラワーアレンジメント教室、ビハーラ高島等の活動は新型コロナのため中止

特別養護老人ホーム　清風荘　（指定介護老人福祉施設　滋賀県第2572200059号）

R3.3.31現在

◎開設年月日　昭和49年3月8日　◎利用定員（長期入所）90名　◎ショートステイ（短期入所）20名　◎協力医療等機関　今津病院・高島病院・たつなみ歯科

1.職員配置数

区分 / 職種	現員	配置基準	常勤換算	備考
施設長	1	1	1	
事務員	2		2	
生活相談員	4	1.1	2.0	兼務（4名）
介護支援専門員	3	1	1.5	兼務（3名）
栄養士	1	1	1	
介護職員	61	36.7	52	兼務（1名）
看護職員	8	3	7.2	兼務(1名)
機能訓練指導員	1	1	0.1	兼務（1名）
調理員	5		5	
医師	1	1	0.1	嘱託医（今津HP）
介助員	1		1	
営繕員	2		1.7	
その他	3		1.1	ﾘﾗｸﾚｰｼｮﾝ・歯科衛生士・食洗
計	93	45.8	75.7	
入所者：介護看護職員		1:3	1: 1.8	

2．要介護度別入所者数

区分	入所者数 男性	入所者数 女性	計
要介護 1	0	0	0
要介護 2	0	7	7
要介護 3	6	15	21
要介護 4	5	28	33
要介護 5	3	24	27
合計	14	74	88

※施設要介護度平均　3.9

（令和1度末　平均要介護度3.9）

3．入所者住所地

区分 / 市町名	入所者数 旧措置者 a	入所者数 H12.4月～ b	入所者数 計 c(a+b)	待機者数（R3.3.1現在）
大津市		1	1	6
甲賀市			0	
湖南市			0	
栗東市			0	
米原市			0	
草津市			0	
彦根市			0	
長浜市		1	1	4
守山市			0	2
野洲市			0	
近江八幡市			0	
マキノ町		6	6	110
今津町		37	37	
朽木		2	2	
安曇川町		16	16	
高島町		8	8	
新旭町		16	16	
他府県		1	1	6
合計	0	88	88	128

1日あたり　介護報酬（1.10.1～単価見直し）　利用者負担（1割）

単位（円）	サービス料金 多床室利用料	サービス料金 個室	居住費 多床室	居住費 個室	食費
要介護 1	559	559	855	1,171	1,430
要介護 2	627	627			
要介護 3	697	697			
要介護 4	765	765			
要介護 5	832	832			

上記の単位（円）に下記の各種加算がかかります。

＊1単位10円で計算

4．年齢・性別　入所者数

	男	女	計
55～64歳	0	0	0
65～69歳	2	0	2
70～74歳	0	4	4
75～79歳	1	2	3
80～84歳	2	5	7
85～89歳	5	22	27
90～94歳	2	29	31
95～99歳	2	9	11
100歳～	0	3	3
合計	14	74	88
平均年齢	2年	31年	30年
施設	89.6歳	88.6歳	89.5歳
男性	85.4歳	83.6歳	87.0歳
女性	89.6歳	89.9歳	89.9歳
最小年齢	68歳		
最高年齢	102歳		

5.入所期間別状況

	6ヶ月未満	1年未満	2年未満
男性	1	1	6
女性	6	4	27
	3年未満	4年未満	5年未満
男性	0	2	0
女性	8	7	4
	5年以上	平均入所期間	
男性	4	男性	4年5カ月
女性	18	女性	3年5カ月
		平均	3年5カ月
		最長	12年10カ月
		最短	0カ月

☆加算各種☆

	加算は2.4.1～
☆現行どおり	
※身体拘束廃止取組	有
※看取り介護体制	有

☆料金（単位）改定

※栄養ｹｱﾏﾈｼﾞﾒﾝﾄ体制　1日　14単位（円）加算

☆個別に加算

※療養食加算　1食ごと　6単位（円）加算

※看取り加算　死亡日1280単位（円）　前日及び前々日　一日680単位（円）

死亡日以前4日以上30日以下　一日144単位（円）

※日常生活継続支援加算　1日　36単位（円）加算

（※サービス体制強化加算　1日　6単位（円）加算）

※看護体制加算　1日　12単位（円）加算（Ⅰ・Ⅱ算定）

※夜勤職員配置加算　1日　13単位（円）加算

※（新設）介護職員処遇改善加算　一月の総単価×8.3%

※（新設）介護職員特定処遇改善加算　一月の総単価×2.7%

2020年度清風荘(施設･短期)稼働率

介護老人福祉施設	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	備考
要介護1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	**定員　90名**
要介護2	120	186	180	155	155	149	142	150	179	179	196	217	2008	
要介護3	669	646	650	662	682	660	620	644	653	623	560	614	7683	**入所　11名**
要介護4	1073	1102	1049	996	1012	1023	1039	981	957	977	923	987	12119	**退所　11名**
要介護5	750	759	707	831	837	761	819	783	855	838	781	899	9620	**待機者128名**
合計延べ利用者数	2612	2693	2586	2644	2686	2593	2620	2558	2644	2617	2460	2717	31430	
令和2年度稼働率(%)	**96.7%**	**96.5%**	**95.8%**	**94.8%**	**96.3%**	**96.0%**	**93.9%**	**94.7%**	**94.8%**	**93.8%**	**97.6%**	**97.4%**	**95.7%**	
平成31年度稼働率(%)	89.2%	91.3%	91.0%	93.4%	92.9%	87.1%	87.6%	91.9%	91.0%	95.3%	96.8%	96.1%	**92.0%**	
平成30年度稼働率(%)	88.9%	90.7%	91.6%	91.5%	90.8%	89.1%	90.9%	92.5%	92.4%	92.7%	91.5%	91.5%	**91.2%**	

短期入所生活介護	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	備考
要支援1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	**定員　20名**
要支援2	0	0	0	5	5	5	5	8	7	0	0	3	38	**13人/1日**
要介護1	54	44	42	90	56	64	58	71	85	53	60	63	740	
要介護2	77	104	125	151	147	155	146	124	139	115	105	108	1496	
要介護3	111	124	106	74	86	91	87	88	110	121	94	104	1196	
要介護4	64	68	56	72	74	119	118	107	113	101	98	131	1121	
要介護5	6	6	3	12	15	23	38	19	8	11	28	27	196	
合計延べ利用者数	312	346	332	404	383	457	452	417	462	401	385	436	4787	
令和2年度稼働率(%)	**52.0%**	**55.8%**	**55.3%**	**65.2%**	**61.8%**	**76.2%**	**72.9%**	**69.5%**	**74.5%**	**64.7%**	**68.8%**	**70.3%**	**65.6%**	
平成31年度稼働率(%)	79.8%	81.9%	81.8%	66.9%	76.0%	84.5%	82.4%	79.0%	74.4%	69.0%	69.5%	51.9%	**74.8%**	
平成30年度稼働率(%)	70.0%	77.1%	79.2%	84.0%	80.6%	84.8%	78.9%	84.7%	82.3%	77.9%	63.2%	77.7%	**78.4%**	

2020 年度　ゆたか会事業報告　　施設名　さわの風

【定員】入所 29 名・短期入所１名　　【職員】常勤 22 人・非常勤 15 人　合計 37 人（常勤換算 27 人）

	取組事項	実施状況	
施設運営	1.介護保険	（特養稼働率）96.1%［前年度　94.0%］ 入院総日数は 321 日、空白日数 57 日、平均要介護度は 3.8 で昨年度と変化はない。空床 3 日以内で次の入所をして頂けるように、待機上位者への説明や面接を早めに実施した。	（短期入所稼働率）96.2%［前年度　99.1%］ 定期的に利用されていた方が冬期に老人保健施設を利用され稼働率の低下につながった。 （入所判定会）毎月１回開催公正且つ適正に行った。要介護２の方２名を特例申し込み者として、市に報告している。
	2. ｻｰﾋﾞｽの質　職員の資質向上	（サービス向上委員会）質の向上、各部署の連携と情報共有、業務改善を行なう目的に開催。参加者：総合施設長・施設長・副施設長・管理者・介護支援専門員・相談員・介護副主任・管理栄養士・調理師・看護師・事務員計 12 回開催） （リーダー会議）ユニット間の情報共有と連携、リーダー同士で意見交換を行い施設内の解決事項に取り組む事を目的に毎月実施。 （資格研修） 介護職員初任者研修　１名参加 介護支援専門員資格取得　１名 介護福祉士資格取得　　１名	（委員会活動） 活動を通じて、利用者支援の強化と生活の質の向上を目指した。［感染症委員会・事故防止委員会・身体拘束廃止検討委員会・虐待防止委員会・褥瘡予防委員会］ （ユニットケア研修会）毎月開催。 ユニットケアについて全職員が学ぶ機会となった。目標管理活動を行う中で、施設の理念やユニットケアに関しての共通の理解が出来ていないことがわかった。全職員を対象として毎月 1.5 時間の講義と振り返り、研修受講後のアンケートなどを通して、質の向上を図った。 （看取り研修）清風荘で開催された看取り研修に５名参加。
	3.要望等解決	・法人統一の苦情要望受付票を活用し 14 件の苦情要望を受けつけ、解決に向け取り組みを行った。	・要望の一例として、職員の言葉遣いに関して改善を求める意見を電話にて頂いた。
	4.地域交流促進	・納涼祭やお餅つきなど例年地域の方に協力を頂き実施しているが、今年は開催できていない。地域の行事も中止。 ・フリースペース「さわのそよ風」を毎週火曜日に実施しているが、施設内での活動が難しく、土に学ぶ里調理室やたらいち邸（民宿）等を借りて活動を行った。小学６年生１名・中学１年生１名・中学３年１名が参加。	・2 ヶ月に１回の運営推進会議にて意見を聞く場を設けている。運営推進会議実施は偶数月６回だが、感染が拡大していたため４月・８月は書面での情報交換を行った。（詳細は多機能事業報告内）
	5.防災訓練	・年間防災訓練計画に基づき、初期消火訓練、避難訓練（日勤想定・夜間想定）、救急救命講習を実施した。（AED 使用方法含）	・消防設備点検を２回実施した。
	6.環境美化・保健衛生	・職員の健康診断（介護職員は年２回）とインフルエンザ予防接種（42 名）を実施した。 ・利用者が気持ちよく過ごせるよう、ユニット内共有部・居室内の清掃に努め、各ユニットで美化活動を行った。 ・外部業者による害虫駆除を年２回実施した。 ・温度・湿度計を活用し適正な温度、湿度管理に努めた。	・新型コロナウイルス対策として ①職員の出勤前、出退勤時の検温、マスク着用②面会制限と外出自粛③業者搬入時の玄関での対応④ユニット内定期的換気を実施⑤飛沫防止パーテーションの活用 ・ミニクローラによって、水道水と食塩にて生成する電解次亜水を最大限に活用し消毒と清掃に活用した。
	7.在宅支援等	・空床ベッドを活用した。空床が出来た際には居宅に案内をするなど積極的な活用を促した。 ・短期入所を定期的に利用されていた方が、冬期に老人保健施設を利用され稼働率の低下につながった。	・家族の要望に出来る限り応え、また、緊急な受け入れにも柔軟に対応しサービスを提供した。 ・処遇困難なケースに積極的に対応し、地域における認知症高齢者を含めて自立支援を促進した。 ・可能な限り、在宅ケアマネージャー主催のサービス担当者会議に参加し、情報の共有化を行った。
	8.人材育成	・法人リーダー研修に２名参加 ・現任研修短期コースに２名参加	・新人職員に対する OJT を実施 ・施設内研修　　認知症研修、虐待防止研修、感染症研修 リスクマネジメント研修等実施
	9.実習の受け入れ	・法人主催の初任者研修の実習生３名を受け入れた。	
	10.施設整備　備品等更新	・脱衣室トイレを汚物処理室へ改修（440 千円）。	・ベッド設置型移乗介助リフト（430 千万円）。
利用者サービス	1.利用者自立支援/ｹｱﾌﾟﾗﾝの作成	・定期的なモニタリングやアセスメント、また退院後や状態変化に合わせ、他職種が連携しケアプラン立案し実行した。カンファレンス実施回数：52 回 ・カンファレンスにはご家族にも参加頂き、意見を聞きながらケアプランの立案が出来た。 ご家族参加件数：14 件　　ご本人参加件数：１件 ・コロナ禍で面会ができない中、ご家族に安心していただくために写真を添えてお手紙を送らせて頂いた。またオンライン面会の活用を促し、13 名のご家族が定期的に活用された。ガラス越し面会も多くの方が活用された。	（専門職との連携） 言語聴覚士（ST・今津病院）に来所して頂き、嚥下状態が低下や、食事形態の相談など月 1 回適正な評価をしてもらった。より安全でおいしく食事が摂れるように工夫を行った。 ST 相談人数：15 名 作業療法士（OT・法人所属）が毎週木曜日来所し、集団リハビリや個人リハビリ、リラクゼーション等を実施。来所時には、車椅子の座位姿勢や臥床時のポジショニングなどその都度相談する事ができた。OT 来所回数：43 回
	2.健康管理	・嘱託医の健康管理のもと、異常の早期発見、健康管理、治療において適切な医療サービスを受けられるように努めた。 ・３月に利用者健診を、外部業者による検診車を利用して行った。 ・インフルエンザ予防接種実施（28 名） ・肺炎球菌ワクチンの接種実施（６名） ・インフルエンザ、ノロウイルスの感染者はなし	・感染予防対策の徹底を行った。 毎日の検温の実施・手洗いと消毒・換気・温度、湿度の管理、飛沫防止パーテーションの活用・室内の清潔と消毒 ・週１回、嘱託医による健康管理実施 ・歯科訪問診療の実施（必要時依頼に応じて往診） ・施設での看取り　４名。
	3.「食」の提供	・日々の生活の中で大きな楽しみである食事について、利用者一人一人に、嗜好や食事の形態、提供時間や方法など検討し対応している。食器についてもこだわり、食事が引き立つ陶器の使用について再度確認し交換した。	・4 月の花見弁当や、敬老会、お正月の食事は見た目にも美しくとても喜ばれている。またそれ以外の毎月の食事会では「ちらし寿司」が大好評であった。
	4.主な行事実施状況	・毎年恒例の納涼祭・餅つきは、ご家族や地域の方を招くことはできなかったが、利用者と職員で感染対策をとりながら楽しい時間を過ごして頂くことができた。 ・恒例となったブリの解体ショーを面前で行ない、多くの方々に見て頂く事ができ、とても喜ばれていた。	・ひな人形や五月人形、秋のススキやお正月のお花など玄関ホールに飾り、その前で喫茶をしたり、写真を撮ったりしながら季節を感じていただける工夫を行った。
	5.ボランティア	・ボランティアの受け入れはコロナのため中止した。 （フラワーアレンジメント教室、お話会、移動図書、オカリナボランティア、保育園児の訪問等）	

2020 年度　ゆたか会事業報告　　施設名　（小規模多機能）さわの風

【定員】登録定員 18 名・通い 15 名・宿泊６名（3 月 31 日）【職員】常勤５人・非常勤８人　合計 13 人（常勤換算　8.2　人）

	取組事項		実　施　状　況
施設運営	1.基本方針		①　在宅の要支援・要介護者が、通いサービスを中心に、ご本人の能力に応じた活動を職員と共に行い、住み慣れた地域で在宅生活が継続できるよう支援に努める。 ②　月１回以上介護支援専門員がご自宅を訪問し、ご本人、ご家族の要望に沿った形でｹｱﾏﾈｼﾞﾒﾝﾄを実施する。 ③　その人の出来る可能性のあることに着目し、前向きな気持ちで生活を送ってもらえるように支援する。 ④　慣れ親しんだ地域で尊厳ある最期を迎えられるように、本人を支え、家族を支えていく。
	2.サービス	通い	通いサービスは、ご本人・ご家族の状況に応じて、朝食の時間から、夕食後の時間まで臨機応変に対応を継続して行ってきた。 ①　健康管理　主治医、家族、他事業所とともに連携し、日々の状態変化に対応を行った。必要時は受診等の対応も実施。入院時は早期に病院と連携し、退院時スムーズに生活できるように努めた。 ②　入浴　入浴回数を決めず、ご本人の意向や体調等を見ながら実施できるよう努めたが、職員の配置の関係により希望に添えない状況があった。そのような時はご家族に了承を得て代替えに足浴を実施するなどの対応を行った。 ③　日中活動　特養に来ている作業療法士による OT 体操へ一緒に参加、また体操のない日には歌体操（北国の春体操）を取り入れ、楽しみながら体を動かす機会を設けた。ひと月ごとに計画を立てて毎日何らかの活動が行えるように取り組めた。男性利用者が増えた事で作業的な取り組みを行ったり、要支援者の方は食事の取り分けや食器洗いをして下さる等、来られている利用者の方に合わせて活動が提供出来た。 ④　送迎　事故なく安全に実施することができた。
		訪問	毎日の定時の訪問に加え、緊急時の連絡が入った際には、要望に沿い対応できるように努めた。退院後で中々通いが（気分的に）再開できなかった方には、小規模多機能の利点でもある短時間の安否確認などの訪問を入れることで、独居生活の継続を支え通いの再開につながった。また新規利用者の方もなかなか通いに繋がらなかったが、訪問に通う事で顔なじみの関係になり通いに繋げられることが出来た。
		泊り	定期的なレスパイトも含めた宿泊サービスの実施。また、緊急時に宿泊も実施している。
	3.介護計画		①　居宅サービス介護計画書作成人数　36 名　　作成回数　45 回 ②　サービス担当者会議開催 25 回　それぞれ関係者より照会文書を頂き、書面配布にて実施に変えた事もあった。 ③　小規模多機能型居宅介護計画作成　36 名　作成回数 67 回
	4.職員の資質向上		利用者本位、介護技術、緊急時の対応、接遇研修、チームケア、3S活動、人権、レクレーション、身体拘束、認知症ケア、アセスメント、ストレス研修等に参加。
	5.地域交流促進		①　新型コロナウイルスの関係で、地域や外部との交流が全く出来ない状況であった。 ②　フリースペース事業「さわのそよ風」を継続している。毎週火曜日　17：30～21：00 現在　小学生１名　中学生２名　　計３名が利用している。 食事提供・入浴の機会の確保・学習の定着を中心に支援を行っている。 新型コロナウイルスの関係で施設では実施せず、地域の古民家等を借りて行っている。
	6.環境美化保健衛生		①　職員健康診断（介護職員年２回）とインフルエンザ予防接種を実施。 ②　感染症（ノロウィルス・コロナ）・インフルエンザ等予防対策の強化として、毎日の検温の実施、手洗い、うがいの励行の周知徹底と換気や温度湿度管理、飛沫防止パーテーションの設置、テーブルや送迎車内などの消毒の徹底をした。
	まとめ		4月 / 5月 / 6月 / 7月 / 8月 / 9月 / 10月 / 11月 / 12月 / 1月 / 2月 / 3月 / 合計 登録者数：14 / 12 / 12 / 13 / 13 / 13 / 13 / 13 / 15 / 15 / 15 / 16 通い：221 / 224 / 198 / 200 / 208 / 206 / 194 / 219 / 235 / 232 / 221 / 251 / 2609 訪問：56 / 53 / 52 / 100 / 76 / 54 / 96 / 83 / 88 / 78 / 78 / 100 / 914 泊り：53 / 66 / 57 / 41 / 63 / 36 / 40 / 45 / 43 / 52 / 43 / 50 / 589 ①　小規模多機能の強みである臨機応変な対応やサービスの組み合わせによって、新規で利用される本人が無理なく事業所やサービスに慣れることが出来、利用される中で落ち着いて生活できる方や介護者の身体的・精神的負担の軽減に貢献できた。 ②　特別養護老人ホームへの入所が２名、胃ろうを造設され医療系の施設や病院に入所された方が２名あった。 ③　要支援者の受け入れの枠を広げることにより、日中の活動の幅が広がり活気が見られるようになった。 ④　運営推進会議を中心に地域との情報交換・共有の場を大切にしていく。 【登録者　要介護５：１名、要介護４：０名　要介護３：２名、要介護２：５名、要介護１：５名、要支援：５名】 【平均要介護度　2.0】 【通い１日平均利用人数　7.2 人、月平均宿泊日数 49 日、　月平均訪問回数　76 回】
運営推進会議	1.構成員		利用者、利用者家族、地域住民代表（区長、民生委員、老人会会長）、介護保険事業に知見を有するもの、行政、さわの風職員で構成。全 14 名
	2.頻度		２ケ月（奇数月）に１回、特養と合同開催　１時間程度　場所：さわの風玄関ロビー
	3.内容		特養、小規模の事業経過報告、意見交換等、研修
	4.実施状況		第１回　令和２年４月　書面にて　／　第４回　令和２年 10 月 26 日（月）11 名 第２回　令和２年６月 29 日（月）12 名　／　第５回　令和２年 12 月 22 日（火）10 名 第３回　令和２年８月　書面にて　／　第６回　令和３年２月 22 日（月）13 名 運営状況の報告や意見交換など行うことが出来た。 新型コロナウイルスの影響により４月、８月は書面配布にて開催に変えた。２月開催時に行う予定だった自己評価・地域評価の意見交換は、意見を徴収する形で行った。近隣の区と事業所とが互いに協力体制を持てるように今後も関係を構築していく必要がある。

地域密着型小規模特別養護老人ホーム（小規模多機能型居宅介護事業所） さわの風

R3.3.31

◎開設年月日　平成23年8月1日　◎利用定員（長期入所）29名　◎ショートステイ（短期入所）1名　◎協力医療等機関　今津病院・マキノ病院・林歯科

1.職員配置数　※（　　）内は多機能

区分 / 職種	現員	配置基準	常勤換算	備考
施設長	1	1	1	本体兼務
管理者	1(1)	1	1(1)	
生活相談員	1	1	1	兼務
介護支援専門員	1(1)	1	1(1)	兼務
介護職員	21(13)	9.6	16.8(8.2)	
看護職員	3(1)	1	2.5(0.5)	1名兼務
栄養士	1			本体兼務
調理員	2			本体兼務
事務員	1			本体兼務
医師	1		0.2	嘱託医
計（特養介護看護職員）	24	9.6	19.3	

2.要介護度別入居者数(特養)

区分	入所者数 男性	女性	計
要介護1	0	0	0
要介護2	1	1	2
要介護3	2	6	8
要介護4	2	9	11
要介護5	0	8	8
合計	5	24	29

※特養　要介護度平均　3.8

要介護度別利用者数(多機能)

区分	入所者数 男性	女性	計
要支援1	0	3	3
要支援2	0	2	2
要介護1	2	3	5
要介護2	2	1	3
要介護3	0	2	2
要介護4	0	0	0
要介護5	0	1	1
合計	4	12	16

※多機能　要介護度平均　1.5

3.特養入居者住所地

区分 / 町名	入所者数 男性	女性	計	待機者数
マキノ町	4	11	15	10
今津町	0	12	12	8
新旭町	1	0	1	6
安曇川町	0	1	1	5
朽木	0	0	0	1
旧高島町	0	0	1	1
合計	5	24	29	31

4.年齢・性別　入居者数

	男	女	計
60～64歳	0	0	0
65～69歳	0	0	0
70～74歳	0	0	0
75～79歳	0	2	2
80～84歳	2	3	5
85～89歳	1	6	7
90～94歳	2	6	8
95～99歳	0	5	5
100歳～	0	2	2
合計	5	24	29
平均年齢			
施設	87.9歳		
男性	86歳		
女性	89.7歳		
最小年齢	78歳	最高年齢	102歳

5.入所期間別状況　（人）

	1か月～3か月未満	3か月～6か月未満	6か月～1年未満	1年～2年未満	2年以上
男性	**0**	**0**	**2**	**1**	**2**
女性	**1**	**2**	**3**	**5**	**13**

平均入所期間

男性	**2年10**	**か月**
女性	**3年3**	**か月**
施設	**3年0**	**か月**

6.小規模多機能登録者住所地

区分 町名	字	入所者数 男性	女性	計
マキノ	在原	1		1
	沢		3	3
	牧野		1	1
	高木浜		2	2
	白谷		1	1
	海津		2	2
	西浜	1		1
	寺久保	1		1
今津	下弘部		1	1
	弘川	1	1	2
	松陽台	0	1	1
合計		4	12	16

7.入所者等の状況（特養）

月	入所者数	左の内訳 高島市内	左の内訳 （再入院）	新規入所者 在宅・家庭	新規入所者 医療機関	新規入所者 その他	新規入所者 計	退所者 死亡	退所者 （再掲看取り）	退所者 その他	退所者 計
4	29	29	3	1			1	1			1
5	29	29	1								
6	29	29	5	2			2	2	1		2
7	29	29	2	1			1	1			1
8	29	29	1			1	1			1	1
9	29	29	2	2			2	1	1	1	2
10	29	29									
11	29	29	3								
12	29	29	3	1			1	1	1		1
1	29	28	1								
2	29	29	1			1	1	1			1
3	29	29	1			1	1	1	1		1
計	348	347	23	7	0	3	10	8	4	2	10

入院（月末時点）

8.基本的生活

（1） 食事状況　（人）

区別 / 性別	自立	要介助 一部介助	全介助	経管栄養	小計	合計
男性	2	3	0	0	5	5
女性	11	5	8	0	24	24
計	13	8	8	0	29	29

（2） 排泄状況　（人）

区分 / 性別	自立	要介助 トイレ誘導	オムツ交換	留置カテーテル	小計	合計
男性	1	1	2	1	5	5
女性	0	15	8	1	24	24
計	1	16	10	2	29	29

（3） 洗面・更衣状況　（人）

区分 / 性別	洗面 自立	一部	全介助	合計	更衣 自立	一部	全介助	合計
男性	1	2	2	5	1	3	1	5
女性	4	12	8	24	0	16	8	24
計	5	14	10	29	1	19	9	29

（4） 移動状況　（人）

区別 / 性別	自立 歩行	杖・老人車	車椅子	小計	要介助 手引	歩行器	車椅子	小計	合計
男性	0	1	0	1	0	0	4	4	5
女性	0	0	7	7	2	0	15	17	24
計	0	1	7	8	2	0	19	21	29

2020年度　さわの風（施設･短期･小規模多機能）稼働率

（請求データに基づく）　　2021年 3月31日

ユニット型地域密着型 介護老人福祉施設	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	備考
要介護1													0	定員：29名
要介護2	60	62	60	62	62	60	62	54	62	62	56	62	724	（開所：平成23年8月1日）
要介護3	239	248	221	170	186	180	186	180	186	186	168	236	2,386	
要介護4	298	310	278	328	341	333	403	379	376	372	328	370	4,116	
要介護5	261	276	241	279	280	270	248	223	239	248	231	225	3,021	入所10名
合計延べ利用者数	858	896	800	839	869	843	899	836	863	868	783	893	10,247	退所10名
2020年度稼働率（%）	98.6%	99.6%	91.9%	93.3%	96.6%	96.8%	100.0%	96.0%	95.9%	96.5%	96.4%	99.3%	**96.1%**	待機者31名
2019年度稼働率（%）	94.3%	94.6%	91.7%	90.4%	91.2%	89.0%	99.2%	100.0%	98.3%	92.3%	95.2%	91.8%	**94.0%**	
2018年度稼働率（%）	93.1%	94.5%	96.4%	95.1%	96.2%	96.1%	93.4%	92.4%	97.8%	95.3%	93.8%	94.8%	**94.9%**	

ユニット型 短期入所生活介護	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	備考
要支援･他													0	定員：1名
要介護1		2		2		2	10	9	10	2		4	41	（併設空床利用型）
要介護2				8			9	14	5				36	（開所：平成23年8月1日）
要介護3	28	19	30	24	22	14			11	10	18	15	191	
要介護4			3	5	4	6	3	6					27	
要介護5						7	7				6		20	
合計延べ利用者数	28	21	33	39	26	29	29	29	26	12	24	19	315	
2020年度稼働率（%）	93.3%	67.7%	110.0%	125.8%	83.8%	96.6%	93.5%	96.6%	83.8%	38.7%	85.7%	61.2%	**96.2%**	
2019年度稼働率（%）	76.6%	83.8%	120.0%	161.2%	158.0%	83.3%	90.3%	63.3%	48.3%	100.0%	124.1%	80.6%	**99.1%**	
2018年度稼働率（%）	103.3%	87.1%	76.7%	71.0%	90.3%	126.7%	83.9%	73.3%	90.3%	96.7%	103.5%	74.1%	**89.7%**	

小規模多機能型 居宅介護	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	備考
利用登録者数	14	12	12	13	13	13	13	13	15	15	15	16	164	登録定員：18名
通い利用日数	221	224	198	200	208	206	194	219	235	232	221	251	2,609	通い定員：15名
訪問日数	56	53	52	100	76	54	96	83	88	78	78	100	914	宿泊定員：6名
宿泊利用日数	53	66	57	41	63	36	40	45	43	52	43	50	589	（開所：平成23年10月1日）
要支援1	2	2	2	2	2	2	2	2	3	3	3	3	28	
要支援2	1	1	1	1	1	1	1	1	2	2	2	2	16	
要介護1	6	5	4	5	5	5	5	5	5	5	5	5	60	
要介護2	2	1	1	1	1	1	1	1	2	3	3	3	20	
要介護3	1	1	2	2	2	3	3	3	2	1	2	2	24	
要介護4	1	1	1	1	1								5	
要介護5	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12	
合計登録利用者数	14	12	12	13	13	13	13	13	15	15	16	16	165	
2020年度利用登録数（名）	14	12	12	13	13	13	13	13	15	15	16	16	**13.8**	
2019年度利用登録数（名）	16	16	16	16	14	13	15	15	15	14	15	15	**15.0**	
2018年度利用登録数（名）	15	15	16	16	16	18	18	18	18	16	15	14	**16.3**	

【定員】朽木小規模特養入所 30 名・短期入所６名・DS18 名・HHS(休止)・居宅介護　【定員】地域密着型特養入所 20 名・短期入所２名
【職員】常勤　32 人・非常勤　20 人・合計　52 人（常勤換算　41 人）　（派遣職員　1 人（常勤換算１人）

	取組事項	実施状況	
施設運営	1.介護保険	・施設:小規模特養・稼働率 94.5%、地域密着特養・稼働率 95.7%（年間延べ 616 日入院、前年度より 20 日減）平均稼働率 95.1%前年より１P減少。退所者２０名と多かった。 ・平均介護度：小規模特養 3.8、地域密着型 3.5 で 0.1P 減 ・短期入所：稼働率平均 66.1%。前年比 1.1P 減。	・通所介護：稼働率 46%前年より 7P 減。前年比、延べ利用者 288.名減。新規利用者８名（前年度は２２名） ・居宅介護支援事業：担当実人数月平均 58 名、延べ利用者数 589 名（予防 203 名で 54 名増、介護 386 名で 18 名減）。新規の利用者 15 名で昨年より７名減。
	2. ｻｰﾋﾞｽの質 職員の資質向上	・施設内研修：リスクマネジメント研修 2 回（33 名）感染予防対策研修２回（51 名）褥瘡予防研修１回（22 名）身体拘束廃止研修２回（44 名）人権研修１回(14 名)実施。 ・施設外研修：ユニットリーダー研修（2日間）１名。WEB 研修。施設実習は感染症予防のため保留中。 ・実務者研修受講１名。介護福祉士取得１名。 ・２月高島市により施設従事者による高齢者虐待事実確認調査が実施された。資料提出・面接（利用者 10 名、職員 18 名）３月 30 日「虐待の事実あり」との判断を受け対応中。	・看取の研修に４名参加。（清風荘） ・家族会：新型コロナの影響で実績なし。新型コロナ対策に向けた施設の取り組みに関する家族アンケートを実施（7月）。写真つきで近況報告を実施。面会は、窓越し、LINE、対面と状況に応じた対応をした。 ・施設内感染予防対策の徹底（検温、マスク、消毒、アクリル板設置、換気は随時（朝夕２回は定時放送で徹底）。 ・運営推進会議：特養６回（内２回書面）・通所２回（１回書面）感染予防対策をとり実施。
	3.要望等解決	・要望件数 24 件。（施設入所 10 件、短期入所 11 件、DS　3 件）職員対応 15 件、利用者・嗜好５件その他４件。	・R2 年 12 月より細やかな要望の聞き取りに取り組む。 ・２月法人の要望等解決委員会に参加し情報共有を図る。
	4.地域貢献等の促進	・やまゆり会事務局担当：会員 56 名。役員会１回、総会、学習会1回（7月10日）延べ参加者28名。 ・５月の山神神社祭礼中止。・市場区夏祭り中止。 ・夏祭り：施設のみで従来型、ユニット、DSで実施。 ・餅つき：施設のみで従来型、ユニット、DSで実施。 ・施設備品貸し出し：赤鬼・青鬼の衣装（くっつき節分行事）	・朽木東小学校４年生から手作りのゲームとタブレットによるゲーム説明、音楽会の動画、クリスマスリース等飾り物や手紙が届き楽しんでいただけた。 ・「朽木暮らし何でも相談会」職員２名参加。（荒川惣田区） ・職員派遣：朽木東小学校（4･6年生対象）福祉体験１名。朽木外出サポート隊の送迎研修に講師1名。
	5.防災訓練	・年間防災訓練計画を基に夜間想定・消火訓練各２回（19 名）、夜間通報訓練1回、日中・風水害想定避難訓練・炊き出し訓練（利用者 13 名、職員 13 名参加）。救命講習 13 名参加心肺蘇生法・ＡＥＤ使用講習を実施。	・市場区防災訓練・研修会参加（２名参加） ・福祉避難所開設訓練学習会参加２回（２名参加） ・高島市福祉避難所開設運営懇談会（４名参加）
	6.環境美化 保健衛生	・感染予防対策として、電解次亜水生成器にて次亜塩素酸ナトリウム生成で清掃、アルコール手指消毒等徹底する。 ・冬期の加湿器の設置、衛生マットや換気で湿度の保持を図る。 ・感染予防対策の強化として（利用者、職員の2回検温、マスク着用、会議室・DSエリア・面会室のアクリル板設置等）。	・感染予防対策備品の備蓄（マスク、ガウン、手袋等） ・３S活動により、施設内、倉庫の整理整頓実施。 ・施設周辺の庭木剪定、伐採。環境美化に努める ・毎月 15 日の安全点検に施設巡回を実施し記録。可能な範囲で修繕等改善を進める。
	7.在宅支援	・短期入所介護：利用率は減少（特に従来型施設）。利用度の高い方が施設入所となるケースが多かった。新規の利用者が少なかった。今後も各事業所との連携で積極的な利用者支援を実施していきたい。 ・居宅：診療所等関係機関と連携し、在宅での緊急時や処遇困難なケースも迅速に対応できた。担当者会議等に参加し地域の情報の収集と共有に努めた。	・デイサービス：4月、新型コロナ感染症の対応で、2 日間休業。5 月は縮小し運営。利用控えもあった。その間、在宅への訪問と地域の実態把握に努める（職員１名）。 ・6 月より通常稼動するが、SS 利用や特養入所などで利用者は減少した。針畑地域の新規利用者が増え、送迎等の時間（往復約 80 分）や職員確保等課題が出てきた。 ・訪問介護：休止中。こころいちばんにてサービスの提供。
	8.人材育成	・採用者ＯＪＴの実施。（特養・デイサービス） ・法人リーダー研修１名、現任研修に４名参加。	・定期面接：管理者面接１回、主任、副主任による面接１回全職員対象に実施した。必要に応じ随時面接を行った。
	9.人権活動の推進	・県内管理者人権研修２名参加。（ＷＥＢ） ・市内高齢者虐待防止研修５名参加。（ＷＥＢ） ・県身体拘束研修会（3名）・施設身体拘束研修2回（44 名）	・月例会では、研修報告や人権に関する内容等周知の機会とした。参加者延べ 213 名。 ・人権啓発研修 14 名参加「コール&レスポンス」を学ぶ。
	10.実習の受け入れ	・10 月に、法人主催初任者研修受講者２名の受け入れ。	・従来型施設　１名、ユニット型施設１名。
	11.施設整備 備品等更新	・従来型施設：各トイレ衛生器具取替えと床修繕（527 万円）。換気扇の取替え更新工事（349 万円）。令和３年３月に実施完了。（高島市）	・従来棟：キッチン排水配管修理、洗濯機、乾燥機修理。ＬＡＮ配線工事（242 千円）誘導等、非常照明設備等不具合箇所修理（463 千円）新棟：乾燥機修繕(216 千円)
利用者サービス	1.利用者自立支援 ケアプランの作成	・施設年間ケアカンファレンス実施。回数 91 件（定期、要介護認定更新時・個々の状態変化時）。 ・利用者自身が今できていることを長く維持できるよう意識したケアプランの作成。 ・５名の方の看取りと振り返りカンファレンスの実施。	・ＯＴ、歯科衛生士等専門職と連携しながら検討し、自立支援を意識した支援内容をケアプランに位置づけた。 ・臨床心理士：５回、利用者 16 名面接。 ・作業療法士：延べ 2874 回の機能訓練実施（個別と集団） ・言語聴覚士：新型コロナの影響で相談実績なし。
	2.健康管理	・４月利用者定期健康診断を実施。 ・インフルエンザ予防接種実施（10 月 11 月、利用者・職員） ・月１回定期診察。歯科訪問診療（随時）。 ・吐物処理ガウンテクニック研修（６月介護全職員対象）。	・感染予防対策に力を入れる。午前と午後と２回検温実施(利用者）出退勤時検温実施（職員）。 ・インフルのエンザ、ノロウィルスの罹患者はなかった ・４月職員健康診断実施。11 月夜勤職員健康診断実施。
	3.「食」の提供	・面前調理（寿司パーティー・焼肉・すき焼き）感染防止のため厨房で調理、エリアで盛付・提供。夏祭り・敬老祝賀会・餅つき・新年食事会の行事食は３密感染対策を取りながらの提供であったが、楽しい時間を共有できた。	・花見弁当や旬の料理の提供、喫茶・お菓子作りでは調理員も参加し、利用者と一緒に楽しく提供ができた。 ・3S 活動の取り組みで食器棚や器具棚の整理整頓等衛生美化に努めた。
	4.主な行事実施状況	・夏祭り、お餅つき：地域の方の参加は中止。 ・敬老祝賀会：各エリアにて健康と長寿をお祝い。 ・新年祝賀会：各エリアにて行事食の提供。	・ＤＳ：お花見、紅葉ドライブ、ミニ運動会を実施。 ・施設：クリスマス会、節分行事など季節を感じていただけるように各エリアで密を避け実施。
	5.ボランティア	・やまゆり会、つくしの会、広瀬佛教婦人会は感染予防対策のため支援はなかった。 ・日赤奉仕団：施設外周の草取りに2回訪問（延べ３０名）。	・6月伊勢太神楽の舞。玄関にて舞を観賞する。 ・ご近所山下様ご夫婦により、草取り花壇定植、水やりの随時支援を受ける。澤田様剪定作業。

朽木小規模特別養護老人ホームやまゆりの里 （指定介護老人福祉施設 滋賀県第2572200273号） 令和3年3月31日現在

◎開設年月日 平成10年1月8日 ◎利用定員（長期入所）30名 ◎ショートステイ（短期入所）6名 ◎協力医療等機関 朽木診療所・今津病院・高島病院・横木歯科

1.職員配置数

区分 / 職種	配置基準数	現員	常勤換算	備考
施設長	1	1	1	兼務
事務員				兼務
生活相談員	1	1	1	兼務
介護支援専門員	1	1	1	兼務
管理栄養士		1	1	兼務
栄養士	1			
介護職員	12	16	13.8	
看護職員	1	4	1.9	兼務
機能訓練指導員	1	1	1	兼務
調理員		4	3.6	兼務
医師	非常勤	1	0.1	兼務
その他		7	3.9	兼務
計		37	28.3	
入所者：介護看護職員（配置基準3：1）				2.3：1

3．入所者住所地

区分 / 市町村名	入所者数 旧措置者	入所者数 H12.4月～	入所者数 計	待機者数
大津市		2	2	1
彦根市		0	0	0
草津市		0	0	0
長浜市		0	0	0
マキノ町		0	0	1
今津町		7	7	5
朽木		9	9	6
安曇川町		5	5	18
高島町		4	4	5
新旭町		3	3	9
他府県		0	0	1
合計	0	30	30	46

4．年齢・性別 入所者数

	男	女	計
50～59歳	0	0	0
60～69歳	0	0	0
70～79歳	1	0	1
80～84歳	0	1	1
85～89歳	2	6	8
90～94歳	1	7	8
95～99歳	0	11	11
100歳～	0	1	1
合計	4	26	30

平均年齢

施設	92.5
男性	91.6
女性	92.6
最小年齢	78
最高年齢	100

2．要介護度別入所者数

区分 / 介護度	入所者数 男性	入所者数 女性	入所者数 計
要介護１			0
要介護２		2	2
要介護３	3	5	8
要介護４		8	8
要介護５	1	1	2
合計	4	16	20

※施設要介護度平均 3.8

1日あたり 介護報酬 ※加算含 利用者負担（1割） 単位（円）

区分 / 介護度	サービス料金 多床室	サービス料金 従来型個室	サービス料金 ユニット	居住費 多床室	居住費 従来型個室	居住費 ユニット	食費
要介護１	661	661	646	855	1,171	2,006	1,430
要介護２	726	726	714				
要介護３	797	797	787				
要介護４	862	862	857				
要介護５	926	926	925				

※サービス提供体制強化加算Ⅰイ 1日 18単位（円）加算

※看護体制加算Ⅰ 1日 6単位（円）加算

※個別機能訓練加算 1日 12単位（円）加算（H31.2.1～算定）

※身体拘束廃止取組 有

※処遇改善加算 加算率 8.3%

※特定処遇改善加算 加算率 2.7%

※高島市地域区分 その他適用 月単位合計に11を乗じた額が実際の負担額です

入所の資格

65歳以上で（特別の場合は65歳未満でもよい）身体上または精神上の障害があるため、常時介護を必要としながら、家庭においてこれを受けることが困難な方が対象。ただし、要介護認定により、要介護度3以上が算定された場合。

施設の目的

介護保険法令に従い、ご契約者（利用者）が、その有する能力に応じ可能な限り自立した日常生活を営むことができるように支援することを目的として、日常生活を営むのに必要な居室及び共用施設などをご利用頂き、介護福祉施設サービスを提供する。

地域密着型特別養護老人ホームやまゆりの里 （指定介護老人福祉施設 滋賀県第2572200204号） 令和3年3月31日現在

◎開設年月日 平成10年1月8日 ◎利用定員（長期入所）20名 ◎ショートステイ（短期入所）2名 ◎協力医療等機関 朽木診療所・今津病院・高島病院・横木歯科

1.職員配置数

区分 / 職種	配置基準数	現員	常勤換算	備考
施設長	1	1	1	兼務
事務員				
生活相談員	1	1	1	兼務
介護支援専門員	1	1	1	兼務
管理栄養士		1	1	兼務
栄養士	1			
介護職員	10	11	10.3	
看護職員	1	4	1	兼務
機能訓練指導員	1	1	1	兼務
調理員		4	3.6	兼務
医師	非常勤	1	0.1	兼務
その他		1	0.5	兼務
計		26	20.5	
入所者：介護看護職員（配置基準3：1）			1.95：1	

3．入所者住所地

区分 / 市町村名	入所者数 旧措置者	入所者数 H12.4月～	入所者数 計	待機者数
大津市		2	2	0
彦根市		0	0	0
草津市		0	0	0
長浜市		0	0	0
マキノ町		1	1	0
今津町		2	2	1
朽木		9	9	0
安曇川町		2	2	4
高島町		0	0	1
新旭町		4	4	3
他府県		0	0	0
合計	0	20	20	9

4．年齢・性別 入所者数

	男	女	計
50～59歳	0	0	0
60～69歳	0	0	0
70～79歳	1	0	1
80～84歳	1	1	2
85～89歳	1	5	6
90～94歳	1	5	6
95～99歳	0	2	2
100歳～	0	3	3
合計	4	16	20

平均年齢

施設	90.9
男性	84.1
女性	86.3
最小年齢	74
最高年齢	104.8

2．要介護度別入所者数

区分 / 介護度	入所者数 男性	入所者数 女性	入所者数 計
要介護１	0	0	0
要介護２	0	2	2
要介護３	3	5	8
要介護４	0	8	8
要介護５	1	1	2
合計	4	16	20

※施設要介護度平均 3.5

1日あたり 介護報酬 ※加算含 利用者負担（1割） 単位（円）

区分 / 介護度	サービス料金 多床室	サービス料金 従来型個室	サービス料金 ユニット	居住費 多床室	居住費 従来型個室	居住費 ユニット	食費
要介護１	661	661	646	855	1,171	2,006	1,430
要介護２	726	726	714				
要介護３	797	797	787				
要介護４	862	862	857				
要介護５	926	926	925				

※サービス提供体制強化加算Ⅰイ 1日 18単位（円）加算

※看護体制加算Ⅰ 1日 12単位（円）加算

※個別機能訓練加算 1日 12単位（円）加算（h31.4.1～算定）

※身体拘束廃止取組 有

※処遇改善加算 加算率 8.3%

※特定処遇改善加算 加算率 2.7%

※高島市地域区分 その他適用 月単位合計に11を乗じた額が実際の負担額です

入所の資格

65歳以上で（特別の場合は65歳未満でもよい）身体上または精神上の障害があるため、常時介護を必要としながら、家庭においてこれを受けることが困難な方が対象。ただし、要介護認定により、要介護度3以上が算定された場合。高島市在住を原則とする。

施設の目的

介護保険法令に従い、ご契約者（利用者）が、その有する能力に応じ可能な限り自立した日常生活を営むことができるように支援することを目的として、日常生活を営むのに必要な居室及び共用施設などをご利用頂き、介護福祉施設サービスを提供する。

令和２年　施設・短期入所　稼働率

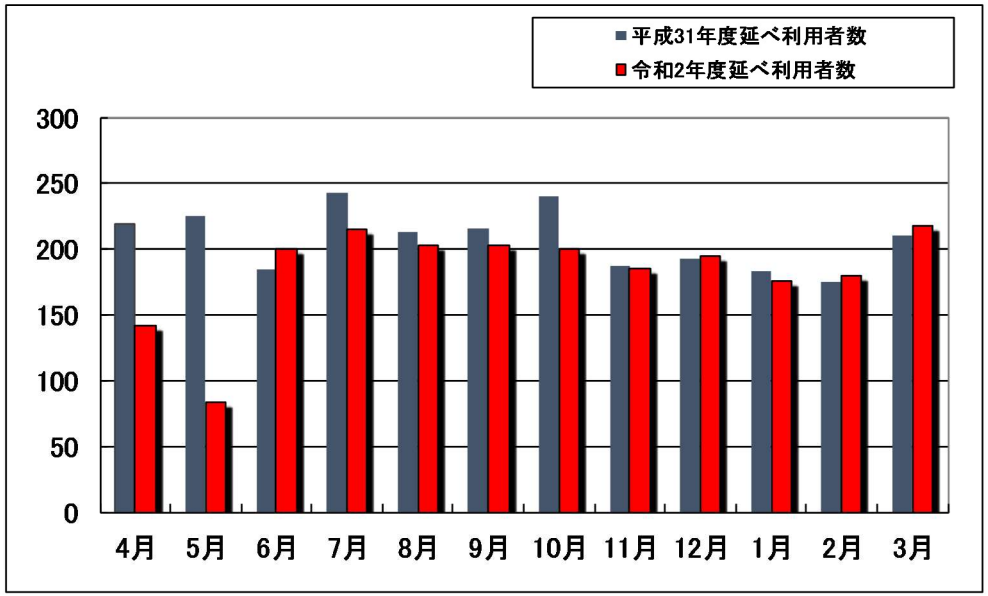
小規模特養	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	備考
従来型多床室	775	806	780	782	712	763	765	764	772	743	678	784	9,124	定員　30名
従来型個室	115	124	120	124	124	120	117	120	101	107	72	91	1,335	稼働率　94.5%
在所者計	890	930	900	906	836	883	882	884	873	850	750	875	10,459	退所（永眠）　11名
入院	0	0	0	0	65	0	41	0	55	72	76	32	341	退所（病院）　4名
外泊	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	入所　15名
入所在籍者計	890	930	900	906	901	883	923	884	928	922	826	907	10,800	待機者　46名
令和2年度稼働率（%）	98.9%	100.0%	100.0%	97.4%	89.9%	98.1%	94.8%	98.2%	93.9%	79.9%	89.3%	94.1%	94.5%	
令和元年度稼働率（%）	96.4%	93.2%	96.1%	98.0%	97.2%	99.3%	98.8%	97.4%	98.5%	94.5%	92.4%	96.3%	96.5%	
平成30年度稼働率（%）	98.4%	100.0%	98.0%	98.4%	97.0%	98.4%	98.6%	98.2%	99.8%	98.5%	100.0%	99.6%	98.7%	
平成29年度稼働率（%）	98.3%	97.5%	98.3%	100.0%	98.5%	92.6%	98.0%	94.3%	96.3%	96.3%	99.3%	98.9%	97.4%	

小規模特養短期入所	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	備考
従来型多床室	61	39	81	86	77	85	70	61	63	96	63	70	852	定員　6名
従来型個室	42	52	50	50	49	45	44	30	21	24	29	35	471	稼働率　60.9%
合計延べ利用者数	103	91	131	136	126	130	114	91	84	120	92	105	1,323	
令和2年度稼働率（%）	57.2%	48.9%	73.3%	73.1%	67.7%	72.2%	61.3%	50.6%	45.2%	64.5%	54.8%	62.5%	60.9%	
令和元年度稼働率（%）	65.6%	72.6%	72.2%	71.0%	70.4%	63.3%	55.9%	45.0%	51.1%	57.0%	56.9%	55.9%	61.4%	
平成30年度稼働率（%）	90.6%	86.0%	78.3%	62.9%	81.7%	84.4%	81.7%	81.7%	80.6%	84.9%	86.8%	72.6%	81.0%	
平成29年度稼働率（%）	65.6%	72.0%	72.8%	74.2%	66.1%	80.0%	82.8%	65.0%	69.9%	63.4%	47.0%	78.5%	69.8%	

地域密着型特養	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	備考
ユニット型	539	581	600	618	585	589	607	557	570	620	524	599	6,989	定員　20名
在所者計	539	581	600	618	585	589	607	557	570	620	524	599	6,989	稼働率　95.7%
入院	61	27	0	2	24	8	13	44	39	0	36	21	275	退所（永眠）　4名
外泊	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	退所（病院）　1名
令和2年度稼働率（%）	89.8%	93.7%	100.0%	99.7%	94.4%	98.2%	97.9%	92.8%	91.9%	100.0%	93.6%	96.6%	95.7%	入所者　5名
令和元年度稼働率（%）	89.8%	94.8%	100.0%	100.0%	98.7%	92.0%	93.9%	98.3%	92.1%	96.0%	94.1%	99.0%	95.7%	待機者　9名
平成30年度稼働率（%）	100.0%	95.3%	94.2%	96.9%	100.0%	99.5%	97.9%	96.7%	92.3%	94.7%	93.2%	96.5%	96.4%	
平成29年度稼働率（%）	96.8%	91.9%	94.5%	94.5%	92.9%	87.3%	99.2%	98.8%	96.3%	95.0%	95.5%	96.8%	95.0%	

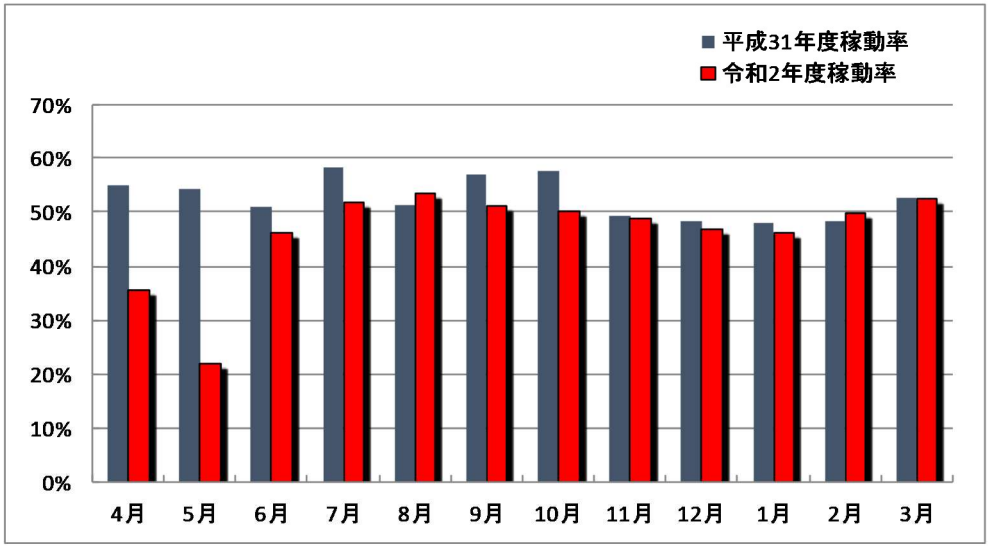
地域密着型短期入所	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	備考
ユニット型	41	46	51	54	44	47	49	39	32	47	32	39	521	定員　2名
合計延べ利用者数	41	46	51	54	44	47	49	39	32	47	32	39	521	稼働率　71.3%
令和2年度稼働率（%）	68.3%	74.2%	85.0%	87.1%	71.0%	78.3%	79.0%	65.0%	51.6%	75.8%	57.1%	62.9%	71.3%	
令和元年度稼働率（%）	81.7%	87.1%	81.7%	83.9%	96.8%	98.3%	90.3%	60.0%	51.6%	46.8%	46.6%	51.6%	73.0%	
平成30年度稼働率（%）	88.3%	104.8%	85.0%	74.2%	88.7%	85.0%	82.3%	98.3%	88.7%	82.3%	101.8%	71.0%	87.5%	
平成29年度稼働率（%）	90.0%	103.2%	61.7%	51.6%	67.7%	111.7%	96.8%	75.0%	111.3%	46.8%	82.1%	82.3%	81.7%	

令和2年度　朽木デイサービス事業報告



月	（31年度）令和元年度				令和2年度			
	平成31年度延べ利用者数	平成31年度稼働日数	平成31年度1日平均利用者数	平成31年度稼動率	令和2年度延べ利用者数	令和2年度稼働日数	令和2年度1日平均利用者数	令和2年度稼動率
4月	218	22	9.91	55%	141	22	6.41	36%
5月	225	23	9.78	54%	83	21	3.95	22%
6月	184	20	9.20	51%	200	22	9.09	46%
7月	242	23	10.52	58%	215	23	9.35	52%
8月	213	22	9.68	51%	202	21	9.62	53%
9月	215	21	10.24	57%	202	19	10.63	51%
10月	239	23	10.39	58%	199	22	9.05	50%
11月	187	21	8.90	49%	185	21	8.81	49%
12月	192	22	8.73	48%	194	23	8.43	47%
1月	182	21	8.67	48%	175	21	8.33	46%
2月	174	20	8.70	48%	179	20	8.95	50%
3月	209	22	9.50	53%	217	23	9.43	52%
合計	2480	260	9.54	53%	2192	258	8.50	46%

＊利用定員18名



●利用状況について

4月末から5月いっぱいにかけて新型コロナウイルス感染症予防対策として、休業・縮小営業を実施したため、昨年度と比較すると利用者数・稼働率が大きく低下しているが、その他は若干の低下・維持に留まっている。1日平均利用者数は昨年度より1名減。

●収支について

大きく体調を崩された方はなかったが、施設入所された利用者やショートステイを利用された方が数名あった。また、新型コロナウイルス感染症予防対策で4月は2日間の休業。4月末から5月中は密を避けるため利用者の調整等を行い縮小し営業した。これらの要因が稼動率の低下となり、結果、昨年度より約３５０万円の減収となった。

●利用者処遇の向上について

新型コロナウイルス感染症予防対策として、送迎時の車中の対応（マスク着用、窓を開ける）、検温、手洗いの徹底、シールドの設置や換気等を実施。

4月5月の休業、縮小営業の間、1名の職員が在宅に訪問し入浴支援を実施した。また、利用者の方の安否確認と情報収集も積極的に実施した。

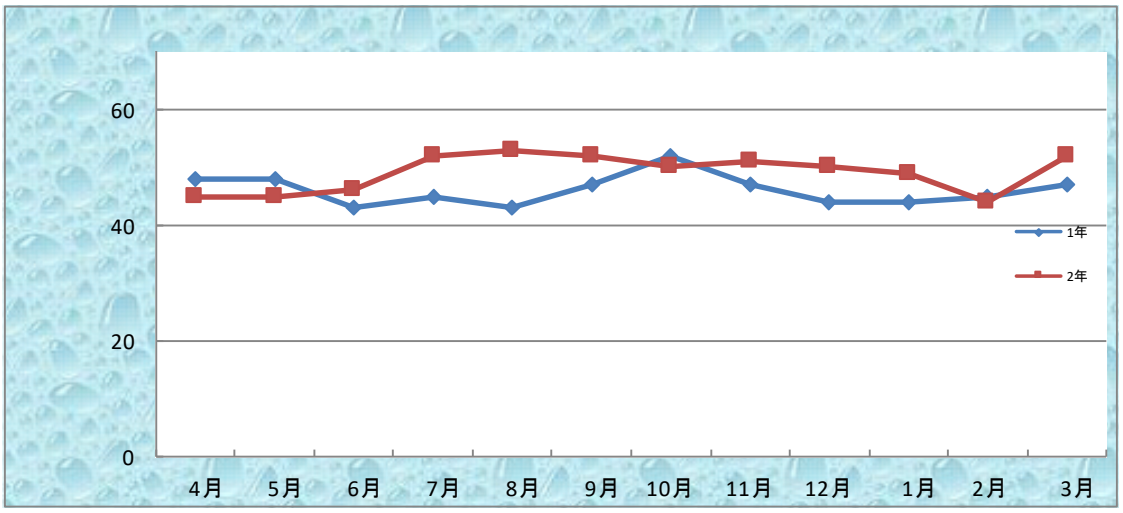
令和２年度　朽木居宅介護支援事業報告

R1年度・R2年度比較表

要介護度別月別プラン作成人数

要介護度	要支援 1・2		要介護1		要介護2		要介護3		要介護4		要介護5		合計	
月	1年	2年	1年	2年	1年	2年	1年	2年	1年	2年	1年	2年	1年	2年
4月	12	13	12	16	14	7	5	6	5	2	0	1	48	45
5月	11	16	14	13	14	6	5	7	4	2	0	1	48	45
6月	8	16	15	16	11	6	5	6	4	2	0	0	43	46
7月	9	18	16	18	9	7	4	6	7	3	0	0	45	52
8月	9	19	16	19	8	6	5	6	5	3	0	0	43	53
9月	12	18	16	16	9	8	6	5	4	5	0	0	47	52
10月	16	17	17	16	8	9	5	4	5	4	1	0	52	50
11月	12	19	15	16	8	9	6	4	4	2	2	1	47	51
12月	16	18	15	19	8	8	3	3	2	1	0	1	44	50
1月	15	17	15	20	8	7	5	4	1	1	0	0	44	49
2月	13	16	15	21	8	3	6	3	3	1	0	0	45	44
3月	16	16	14	21	7	4	6	7	3	4	1	0	47	52
合計	149	203	180	211	112	80	61	61	47	30	4	4	553	589

ひと月あたり平均　令和元年度　46.1　令和2年度　49.1



月別福祉用具レンタル及び購入件数・住宅改修件数

	福祉用具レンタル		福祉用具購入		住宅改修	
	1年度	2年度	1年度	2年度	1年度	2年度
4月	30	30	0	0	2	0
5月	30	29	0	1	0	0
6月	27	32	0	0	0	0
7月	29	34	3	1	1	0
8月	29	35	0	3	0	3
9月	29	34	0	0	0	1
10月	31	34	1	0	1	0
11月	31	34	3	1	0	1
12月	29	35	1	0	1	3
1月	26	33	0	0	0	0
2月	29	29	1	0	1	2
3月	31	27	0	0	0	0
合計	351	386	9	6	6	10

（件）

サービス担当者会議件数
その他の相談業務件数

	担当者会議		その他相談業務	
	1年度	2年度	1年度	2年度
4月	5	4	14	25
5月	8	3	17	10
6月	7	3	27	20
7月	9	11	25	32
8月	4	4	15	21
9月	8	4	29	21
10月	9	7	22	25
11月	5	8	15	28
12月	4	5	15	17
1月	3	4	19	30
2月	10	5	43	28
3月	7	14	28	25
合計	79	72	269	282

（件）

実人数58名、延べ人数589名であった。新規は15名、終了12名（内5名は施設入所、看取りの支援は4名であった）。コロナ禍によるサービスの変更等の動きが多くなったがプラン作成人数の増減はほとんどなかった。（新型コロナウイルス感染症により、通所ｻｰﾋﾞｽを3名の方が中止をされた。）

2020 年度　ゆたか会事業報告　施設名　ケアハウス　じゅらく

【定員】入居２０名　１人部屋 18 室　２人部屋　１室　【職員】常勤５人・非常勤２人　合計７人（常勤換算　4.4 人）

	取組事項	実施状況	
施設運営	1. 利用状況	・４名の退居者があり、５名の入居者がありました。その内４名が介護認定者 ・定期的に運営懇談会を開催、入居者からの意見を取り入れ施設運営に活かす	・入居者の高齢化と重度化に伴い、生活面を干渉しなければならない状況もある ・清風荘の応援が欠かせない。特に夜間は特養の夜勤者、宿直者による対応が必要な状況である
	2. サービスの質 職員の資質向上	・職場の活性化・業務の効率化を図るため３S活動や目標管理活動を取り組んだ ・サービスの質の向上を図るため「福祉サービス自己評価基準」に基づき、サービスの点検と評価を実施	・内部研修はケアワーカー４回、外部研修１回 ・内部研修としては身体拘束廃止に向けた取組研修（全員参加）
	3. 要望等解決	・要望（苦情）等受付件数は１件	・常に入居者のご意見やご要望に耳を傾け、迅速な対応で、満足していただける生活が送れるように努めた
	4. 地域貢献等の促進	・清風荘の行事には、積極的に参加して交流を図った	
	5. 防災訓練	・年間防災訓練計画に基づき、清風荘と合同で避難訓練２回（内夜間想１回入居者 10 名参加）、消火訓練２回、夜間通報訓練１回、消防設備点検２回、	BCP 防災訓練２回
	6. 環境美化 保健衛生.	・3S 活動により、整理・整頓・清掃に努め、共用部分の清掃は、清掃チェック表に基づき実施　・浴槽水の水質検査（レジオネラ菌検査）は年２回実施 ・害虫駆除（6月・10 月）を実施 ・衛生研修会「新型コロナについて」職員２名研修に参加した。 ・新型コロナウイルス対策-①職員の出勤前、出退勤時の検温、マスク着用　②面会制限と外出自粛③業者の生活階への立入禁止　④定期的換気の放送等を実施　⑤食事の席を対面式から横１列に変更　⑥自力配膳から職員が配膳に変更	・清風荘の感染症対策委員会と活動し、感染症の予防に努めた ・食中毒注意報や腸管出血性大腸菌感染症多発警報の発令期間中は、入居者への手洗いと食品の取り扱いへの注意喚起を実施し、衛生管理に努めた ・感染症（ノロウイルス・インフルエンザ等）の予防対策として運営懇談会で入居者の方へ手洗いとうがいの励行を促した　・施設内の手すりやドアノブ等を光触媒や除菌洗浄水で拭き、ローカの換気や加湿器を使っての温度湿度管理を行う
	7. 在宅支援等	・要支援要介護の認定を受け、ホームヘルプサービスやショートステイ、デイサービス等の在宅サービス利用の入居者については、各事業所または担当のケアマネージャーとの連携を図りケアハウスでの生活	が維持きるように支援した ・在宅サービスの利用状況は、ホームヘルプサービス７名、デイサービス７名
	8. 人事制度	・人事考課規定により職員は自己評価をすることで業務に対する自己点検となり、職務の意欲向上に繋がっている	・規程変更については速やかに職員に提示 ・個人面接実施
	9 .人権活動の推進	・清風荘での研修会に参加し、人権に対する意識向上に努めた	
	10.実習の受入れ	なし	
	11.施設整備･備品等更新	・浴室改修（6,820 千円） ・退居後の居室改修３室（554 千円）	・PC 更新（236 千円
利用者サービス	1 .生活支援･個別支援	・生活は、入居者にとって「生活リハビリ」であることを念頭に遠くからの見守りを基本として入居者の自立した生活が維持できるよう心がけ、定期的に処遇検討会議を開催した ・入居者一人ひとり生活上で「援助すること」「援助しないこと」を明確にした処遇方針・個別処遇計画を作成。結果、職員は入居者に対して共通した視点で支援することができた	しかし、個別処遇計画の策定においては入居者ご本人の参加はしておらず、入居者主体とする計画作成が課題である ・要支援者や要介護者の計画にあっては、サービス担当者会議に参加し、担当ケアマネージャー作成のケアプランの内容を反映させた ・要支援者や要介護者の生活で、新たな問題点等は、担当ケアマネージャーとの連携を図り、問題解決を図った
	2. 健康管理	・入居者の健康面に異常が見られた場合は清風荘の看護師へ相談や主治医・医療機関への診察を促し、側面的な支援を行った ・緊急時の対応に備え、医療機関（主治医）の把握、常時服用している薬の把握に努めた ・転倒及び介護予防のために理学療法士による「健康体操」を実施（７月２回 11 名参加、８月２回 16 名参加） ・サポート体制を充実するために高島市社会福祉課や民生児童委員との連携のもと“命のバトン”を設置している。	・入居者の認知症予防や精神面の安定を図るために臨床心理士からアドバイスをいただく ・「頭の健康教室」は継続して実施 ・入院者は胃がん１名、細菌性肺炎１名、急性胃炎１名、大腸ポリープ摘出１名 ・定期健康診断 17 名実施 ・インフルエンザ予防接種は 19 名中 19 名実施
	3. 食の提供	・嗜好調査や給食会議は例年どおり実施、入居者のご意見を取り入れ、美味しい満足していただける食事提供を行った	・食べる楽しみとして、昨年度に引き続き月１回の食事会と嗜好食事（出前）を実施
	4. 主な行事実施状況	・月２回開催される特養の行事である喫茶ささなみへの参加を促した ・映画会（毎月）	・お菓子作り（栄養士と連携で隔月） ・ケアハウス単独の行事としては、ドライブを兼ねた外食行事を実施（25 名参加）
	5. ボランティア	・新型コロナウイルス感染予防での自粛で予定通りに活動ができず中止となった	

ケアハウスじゅらく　入所者等状況一覧

令和3年3月31日　現在

事業開始年月日	平成１１年１１月　１日	
定　員	２０名	
居室状況	１人部屋	１９室
	２人部屋	１室

１．職員状況

区分 / 職種	人数	常勤換算	備　考
施　設　長	1		兼務
事　務　員	1		兼務
生活相談員	1	1.0	
介護職員	3	2.4	
看護職員			
栄　養　士			
調　理　員	1	1.0	
医　　師			
介　助　員			
そ　の　他			
計	7	4.4	

２．入所者状況　（年齢・性別）

	男	女	計
60～64歳	0	0	0
65～69歳	0	1	1
70～74歳	1	0	1
75～79歳	1	0	1
80～84歳	1	2	3
85～89歳	1	8	9
90～94歳	0	4	4
95～99歳	0	0	0
100歳～	0	0	0
合　計	4	15	19

平均年齢	
施　設	85.58歳
男　性	79.5歳
女　性	87.2歳
最小年齢	69.11歳
最高年齢	94.6歳

３．入所者要介護認定状況

区　分	入所者数 男性	女性	計	区分割合
自　　立	3	3	6	32%
要支援１	1	1	2	11%
要支援２	0	1	1	5%
要介護１	0	9	9	47%
要介護２		0	0	0%
要介護３		1	1	5%
要介護４			0	0%
要介護５			0	0%
合　　計	4	15	19	100%

４．入所期間状況

	入所者数 男性	女性	計
１年未満	1	1	2
１年以上	1	9	10
３年以上	1	1	2
５年以上	1	1	2
１０年以上		2	2
１５年以上		1	1
合　　計	4	15	19
平均入所期間	4年4ヶ月	3年9ヶ月	4年3ヶ月

５．入所者住所地

区分 / 市町名	入所者数 男性	女性	計	入所申込者数 1人室	2人室
大　津　市			0	1	
東近江市			0	1	
湖　南　市			0		
栗　東　市			0		
湖　北　町			0		
草　津　市			0		
高　月　町			0		
木之本町			0		
西浅井町			0		
彦　根　市			0	1	
長　浜　市			0		
マキノ町			0	1	
今　津　町	4	14	18	2	
朽　　木			0		
安曇川町			0	4	
高　島　町			0		
新　旭　町		1	1	2	
他　府　県			0	1	
合　　計	4	15	19	13	0

基本利用料金　（令和2年10月から、生活費と暖房費は料金改定があります。表は改定後の金額です。）

項　目	内　容	算出方法	金　額
生活費	毎日３回の食事代 共用費用	一律金額	44,500円 (R1.10から800円増)
事務費	人件費 保健衛生費等	本人の前年の収入に応じて算定	10,000円 ～ 84,900円
管理費	家賃相当額 ［管理費基礎額　４００万円］	分割納入方式 管理費基礎額＋利息を240ヶ月で割った金額を月々納入 （平成30年4月1日から分割納入方式のみ）	１人部屋の場合 毎月 16,910円 ～17,430円

１ヶ月の利用料金 ＝ 生活費 ＋ 事務費 ＋ 管理費 ＋ 共用部分の暖房費 1,960円(R1.10から30円増)（冬期：11月から3月まで） ＋ その他の費用（上下水道代）

※ 電気、電話料金は入所者自身での個別契約となり実費負担

2020 年度　ゆたか会事業報告　　施設名　障害者支援施設　清湖　園

【定員】入所 60 名・生活介護60 名・短期入所 4 名・日中一時支援 3 名【職員】常勤 42 名・非常勤 26 名（常勤換算 53 人）

	取組事項	実施状況	
施設運営	1. 介護給付費	・施設入所支援―稼働率 91.2%（+0.1P） ・退所者 7 名（死亡 6 名・他施設 1 名） （入院 60 名 714 日、外泊 7 名 14 日）	入所 6 名　令和 3 年 3 月 31 日現在 55 名在籍 ・生活介護事業―稼働率 88%（+2P）・短期入所―稼働率 65.3%（-15P）
	2. サービスの質・職員の資質向上	・施設内研修-①感染症予防研修　生活支援員 緊急時マニュアル改訂研修　生活支援員 ・目標管理活動・3S活動（委員会） ・リスクマネージャー養成講座（初級）1 名	・委員会活動月 1 回（虐待防止、ﾌｰﾄﾞｻｰﾋﾞｽ、品質管理、ﾘｽｸﾒﾝｼﾞﾒﾝﾄ、感染対策、日中活動、3S） ・資格取得助成（初任者研修 1 名、実務者研修 1 名）・サビ管後期研修 1 名受講
	3. 要望等解決	・要望（苦情）等受付件数9件、職員の対応	11 月全職員に啓発活動実施　法人統一様式提出
	4. 地域貢献等の促進	・フリースペース「ゆったり」人材派遣 ・『昭和のうたピアノ弾き語りｺﾝｻｰﾄ（高島市、高島市教育委員会主催）』へ音楽療法士を派遣。	8 回の開催で、現在、市が主体となる高齢者向けの娯楽演芸が皆無のため各方面から評価を得る。 コロナ過の影響で参加者は各回 10 名前後
	5. 防災訓練	・年間防災訓練計画に基づき避難訓練2回（夜間想定）、消火訓練 4 回（消火器、屋内外消火栓、区内消火栓）、夜間通報訓練1回、BCP 講習会、消防設備法定点検2回、防災講習1回（BCP）	普通救命講習 1 回の実施。 ・滋賀県小規模法人ﾈｯﾄﾜｰｸ化協働推進事業（高島市介護ｻｰﾋﾞｽ事業者協議会）共同参加、BCP 作成 ・災害派遣しが DWAT 養成講座参加、登録 1 名
	6. 環境美化 保健衛生.	・感染対策として職員・業者への手指消毒の徹底 ・感染症の拡大に伴い、次亜塩素酸ナトリウムによる消毒の徹底と手洗い、加湿器の稼働、換気、マスク着用義務付け、職員の出退勤時の体温測	定、体調管理 ・不要不急の外出制限　面会制限 ・感染症マニュアルの見直し ・3S 活動による環境整備に努めた。（継続中）
	7. 在宅支援等	・在宅生活の継続、介護者の負担軽減等の支援として在宅生活支援登録者（重複）52 名 （生活介護１３名、日中一時３名、短期入所 15 名、重症心 10 名	・作業療法士による高島市内の支援センターからのリハビリ相談(9 回 4 名)に応じた。 ・清風荘、やまゆりの里、さわの風へ派遣―車椅子適合ポジショニング、運動機能評価、相談を延べ 2200 回実人員 127 名
	8. 人材育成	・リーダー研修の参加（法人内）2 名・8 回	管理者・役職者による対象職員面接の実施
	9 .人権活動推進	・毎月開催の調整会議で啓発を行った。	コロナ禍のため外部研修には参加していない
	10.実習の受入れ	・京都女子大学（保育科）1 名 10 日間	コロナ禍において断り等はなかった。
	11.施設整備・備品等更新	・修繕改修　エレベーター2 基（946 千円）、居室エアコン交換 3 台(825 千円)・器具及び備品（パソコン更新 18台 1,908 千円、記録システム更新 福祉見聞録 6,091 千円	ﾊﾟﾗﾏｳﾄﾍﾞｯﾄ3台 656 千円、2F テレビ、事務所冷蔵庫、厨房機器、消防設備点検に係る費用 感染症備蓄品の購入（マスク、ｱﾙｺｰﾙ、防護メガネ）
利用者サービス	1 .生活支援 ・個別支援	・利用者支援の充実に向け「1 階・2階・3階」のフロア完結型の支援体制の実施、入所者と分けて 1F 朝日ユニット（通所事業）としての支援体制を前年度より継続して実施するが課題は残る。 ・個別支援計画については、実現可能な内容を中心に策定し、身体拘束についても同時に同意を得る形に変更した（ケアプランとして策定）。 ・利用者自治会への事務局として支援（役員会 11 回、喫茶座談会 4 回、総会 1 回） ・成年後見制度―利用9名（家族、法律事務所、NPO あさがお、司法書士）	・作業療法士による個別訓練、車椅子の保守点検・改良や修理、自助具の作成、ナースコールや PC・インターネットの利用練習相談や生活・心身等の関わり（施設入所利用者 63名、通所利用者6名、SS2名）延べ 2,077 名実施した。車椅子新規作製(手動2台)作成中が 2 台 ・感覚統合訓練としてスヌーズレンの実施―2名延 19 回実施 ・作業訓練（手工芸等）－12 名延べ 1,161 名（減少傾向）
	2. 健康管理	・可能な限り入院に至らないように日々の健康管理と異常の早期発見をおこなう。 ・定期健康診断（6 月、12 月）実施延べ 111 人 ・入院者延べ 40 名(714 日)　・　看取りケア 2 名	・インフルエンザ予防接種　57 名、肺炎球菌ワクチン接種2名、風疹予防接種 5 名、 ・職員定期健康診断の実施（6 月全職員、12 月夜勤職員）
	3. 食の提供	・嗜好調査を年2回実施、自治会と給食会議により意見聴取と改善提案等を協議 ・利用者からの意見要望についても改善を実施 ・行事食 13 回　リクエストメニューを聞き個人の嗜好に繋げた。お菓子作りを毎月実施（9 回延べ 123 名：コロナ対策のため 3 回中止）	・喫茶ﾌﾞﾙｰﾚｲｸ（5 回延べ 169 名：コロナ対策のため 2 回中止）・嗜好食事（9 回 384 人：コロナ対策のため 3 回中止）の実施。 ・新型コロナ感染予防対策等マニュアル作成。 ・食品衛生法改正による HACCCP 制度化に向けて、衛生管理計画を作成。大量調理衛生管理マニュアルから現状を見直し、改善、標準化した。
	4. 主な行事実施状況	・自治会との連携により行事の企画、実施 新年食事会、節分祭（簡素化）、花見食事会、花見ﾄﾞﾗｲﾌﾞ、・日中活動―麻雀、将棋、オセロ、ネイルケア・カラオケ	・クリスマス会（ネットにて外部コンサート視聴） ・広報誌「ほのぼのタイムズ」年3回、朝日通信 3 回の発行 ・日中余暇活動の実施
	5. ﾎﾞﾗﾝﾃｨｱ	・日赤奉仕団（車いす清掃）上半期のみ ・日中活動―麻雀、将棋、オセロ、ﾈｲﾙｹｱ・ｶﾗｵｹ	・衣類の繕い、食事関係の支援等、OB ボランティア
新型ウイルスコロナ関連	8 月 31 日　SS 利用者 1 名　発熱の症状・抗原検査陽性確認。高島保健所、他関係機関報告。（濃厚接触者/利用者 6名　接触者/職員 12 名）19 名 PCR 検査実施。全員陰性の結果。9/3～9/15　3 階南側レッドゾーン対応実施。		

【コロナウイルス感染のため中止した行事・事業等】（地域）①市ｹ崎区民とのふれあい交流会②ボランティア受け入れ
③地域との合同防災訓練（施設）①家族の集い②職員全体会（関係団体）①京滋奈三重 QOL 委員会②サビ管連絡会③施設間職員交換研修④滋賀県相互評価委員会　　＊高島市自立支援協議会において市内法人職員応援連携協定書締結
※県内、市内共に各種会議や役員会等 ZOOM による開催が増えた。

障害者支援施設　清湖園の現況

令和3年3月31日現在

開設年月日　昭和57年4月1日　　認可定員：生活介護事業　60名　施設入所支援　60名（現員　56名）　　短期入所：4名　　日中一時支援：3名以内

1　職員の配置状況

	常勤換算	配置基準	常　勤	非常勤	備考
施設長	1	1	1		
ｻｰﾋﾞｽ管理責任者	1.5	1	1.5		兼務1名
医師	0.1	1名以上	0	1	
事務員	0		0	0	
看護師	5.9	2名以上	3	4	
生活支援員	37.7	（1.7:1以上）	27.5	10.2	兼務1名
作業療法士	1	1	1		
栄養士	1	1	1		
調理師	4		4	0	
歯科衛生士	0.1		0	1	
その他（管理宿直）	0			0	
臨床心理士	0.1			1	
音楽療法士	0.6			1	
合　計	53		39	18.2	

2　利用者の状況

①　市町村別利用者

市町村名	男	女
高島市	7	7
長浜市	6	1
大津市	9	5
東近江市	2	1
野洲市	1	1
近江八幡市	2	1
湖南市	2	0
彦根市	0	1
守山市	1	1
草津市	0	1
米原市	1	0
栗東市	0	1
京都市	2	0
宇治市	1	0
山鹿市	0	1
若狭町	1	0
計	35	21

②　受給者証区分別利用者

（生活介護事業）

支援区分	男	女
区分1	0	0
区分2	0	0
区分3	4	1
区分4	2	2
区分5	7	2
区分6	28	23
計	41	28

（施設入所支援）

支援区分	男	女
区分1	0	0
区分2	0	0
区分3	3	1
区分4	1	2
区分5	6	2
区分6	25	16
計	35	21

③　病症類別利用者

障害名	男	女
脳性マヒ	13	8
頚椎損傷	1	0
脊椎マヒ	1	0
脳血管障害後遺症	8	0
頭部外傷後遺症	2	4
脳神経疾患	1	0
リウマチ	0	1
ALS	0	0
その他の疾病	9	8
計	**35**	**21**

④　障害程度別利用者

	区分	男	女
身体障害者手帳（再掲）	1級	30	12
	2級	8	8
	3級	1	2
	肢体不自由	34	16
療育手帳	A	4	5
	B	2	2
精神障害者保健福祉手帳		0	2
重度障害者支援加算（基本）		7	5
重度障害者支援加算（重度）		2	2

⑤日常生活介護状況

介護内容	区分	男	女
食事	自立	19	8
	一部介助	5	7
	全面介助	11	6
起座	自立	11	5
	一部介助	8	4
	全面介助	16	12
立ち上がり	自立	8	5
	一部介助	3	4
	全面介助	24	12
排泄	自立	7	5
	一部介助	8	1
	全面介助	20	15
	＊おしめ使用者	8	14
着脱衣	自立	7	2
	一部介助	7	9
	全面介助	21	10
入浴	自立	3	0
	一部介助	9	8
	全面介助	23	13
ﾄﾗﾝｽﾌｧ	自立	8	5
	一部介助	7	3
	全面介助	20	13
車椅子使用	自立	22	7
	一部介助	3	6
	全面介助	9	7
	＊補助具等で歩行	2	1
	＊普通型車椅子	26	17
	＊電動車椅子	7	2
寝返り	自立	18	10
	一部介助	3	2
	全面介助	14	9

※経管栄養　6名
※カテーテル　4名
※気管切開　3名
※人工肛門　1名

⑤ 年齢別利用者

	男	女
～19歳	0	0
20～29歳	2	2
30～39歳	0	1
40～49歳	3	2
50～59歳	11	4
60～64歳	8	5
65～74歳	7	4
75歳～	4	3

※施設平均年齢　59.4歳
※男性平均年齢　59.8歳
※女性平均年齢　58.6歳
最年少　20歳
最高齢　88歳

※施設の高齢化率

年齢区分	率
50歳未満	18%
50歳以上	81%
60歳以上	55%
65歳以上	32%
75歳以上（後期高齢者）	13%

令和2(2020)年度 清湖園 稼働率

令和3年3月31日

施設	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	備考
定員最大利用者数	1,800	1,860	1,800	1,860	1,860	1,800	1,860	1,800	1,860	1,860	1,680	1,860	21,900	定員60名
利用実績者数	1,680	1,668	1,651	1,697	1,637	1,571	1,621	1,658	1,773	1,724	1,555	1,736	19,971	年度内 入所者数 6名
令和2年度稼働率(%)	**93.3**	**89.7**	**91.7**	**91.2**	**88.0**	**87.3**	**87.2**	**92.1**	**95.3**	**92.7**	**92.6**	**93.3**	**91.2**	年度内 退所者数 7名
令和元年度稼働率(%)	90.9	88.9	93.8	90.1	90.1	88.4	90.9	91.3	92.2	91.3	93.4	92.1	91.1	**年度末 待機者数 77名**
平成30年度稼働率(%)	95.8	96.9	97.7	97.9	94.8	93.5	94.0	94.6	92.8	90.9	88.9	91.5	94.1	
平成29年度稼働率(%)	95.8	94.8	97.9	99.2	97.6	97.4	97.7	95.7	93.4	94.0	97.7	97.6	96.6	

短期入所	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	備考
定員最大利用者数	120	124	120	124	124	120	124	120	124	124	112	124	1,460	定員4名
延べ利用者数	111	108	86	106	101	55	88	79	65	54	34	70	957	
令和2年度稼働率(%)	**92.5**	**87.1**	**71.7**	**85.5**	**81.5**	**45.8**	**71.0**	**65.8**	**52.4**	**43.5**	**30.4**	**56.5**	**65.3**	
令和元年度稼働率(%)	74.2	68.5	81.7	72.6	87.1	75.0	88.7	74.2	76.6	85.5	97.4	83.1	80.4	
平成30年度稼働率(%)	76.7	84.7	86.7	82.3	71.0	75.8	83.9	72.5	63.7	46.8	59.8	54.0	71.5	
平成29年度稼働率(%)	80.8	75.8	65.0	62.9	62.1	70.0	72.6	80.8	79.8	59.7	45.5	73.4	82.6	

生活介護	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	備考
定員最大利用者数	1,560	1,560	1,560	1,620	1,560	1,560	1,620	1,500	1,560	1,560	1,440	1,620	18,720	定員60名
延べ利用者数	1,233	1,243	1,219	1,255	1,223	1,161	1,206	1,217	1,320	1,288	1,124	1,287	14,776	(平成27年4月、定員70名→60名に変更)
上段:入所者	160	142	161	162	132	76	164	150	139	139	133	167	1725	
中段:通所者														
下段:合計	1,393	1,385	1,380	1,417	1,355	1,237	1,370	1,367	1,459	1,427	1,257	1,454	16,501	
令和2年度稼働率(%)	**89.3**	**88.8**	**88.5**	**87.5**	**86.9**	**79.3**	**84.6**	**91.1**	**93.5**	**91.5**	**87.3**	**89.8**	**88.2**	
令和元年度稼働率(%)	86.9	84.5	85.6	86.0	86.5	84.1	86.0	85.3	87.5	86.5	88.9	88.7	86.4	
平成30年度稼働率(%)	97.4	93.6	93.3	97.6	91.4	92.5	91.4	91.0	92.2	87.6	87.7	93.7	92.5	
平成29年度稼働率(%)	97.2	93.9	96.3	98.7	94.4	93.5	97.0	91.7	93.7	90.6	93.2	94.6	96.5	入所者は月日数－8日算定可

令和2年度

「新型コロナウイルス感染症に関する経過報告」

滋賀県　社会福祉法人ゆたか会　障害者支援施設　清湖園

8月30日（日）　16:30 緊急措置(再)入所される（当利用者は8月17日まで当施設を利用）
（発熱等の症状なし）

8月31日（月）

10:00 検温 39.3℃、頭痛の症状確認　　11:30 医療機関（今津病院）受診　抗原検査

12:00　抗原検査により陽性反応（滋賀県・高島市・高島保健所に連絡）

17:00　滋賀県 COVID-19 災害コントロールセンターの指示により、指定医療機関（滋賀医科大学付属病院）入院のため当施設から高島消防救急車にて出発（高島保健所保健師1名同乗）

17:00　高島保健所による状況確認とヒヤリング

19:00　利用者6名が濃厚接触者、職員12名が接触者との判断
濃厚接触者6名のご利用者については、個室個別対応
9月1日午前　利用者7名、職員12名についてＰＣＲ検査の実施予定
接触者12名の職員については、ＰＣＲ検査の結果が出るまで自宅待機

9月1日（火）　高島保健所により濃厚接触者（認定）利用者6名
接触者（認定）職員12名、接触者（疑）利用者1名
合計19名　PCR検査実施（当施設）
滋賀県感染症対策室・クラスター対策班、高島保健所の訪問指導
ゾーニング対策実施（3階レッドゾーン対応）
ゆたか会HP　第1報

9月2日（水）　9:20　高島保健所から結果報告　　利用者・職員全員の**陰性**
新型コロナウイルス感染症の陽性確認の利用者1名に緊急措置入所を終了し医療機関に入院中
濃厚接触者ではない利用者1名から熱発、抗原検査実施（結果陰性）
ゆたか会HP　第2報

9月3日（木）　14:00　高島保健所による2回目の訪問指導（感染拡大防止策、レッドゾーン対応の確認）引き続き9月15日まで感染防止強化対策を実施継続

9月4日（金）　ゆたか会HP　第3報

9月6日（日）　濃厚接触者利用者1名が熱発（誤嚥性肺炎の疑）
高島保健所に電話連絡、高島保健所（山田氏）から高島市民病院受診指示
受診後、入院（高島市民病院）抗原検査（結果陰性）

9月7日（月）　高島保健所の指導に基づく感染防止強化対策（ゾーニング対応）継続中
濃厚接触者6名（内1名は入院中）を含め施設内変わりなし
ゆたか会HP　第4報

9月15日（火）16:00　高島保健所4名来園　2週間の経過報告・レッドゾーン確認　解除
ゆたか会HP 第5報（最終）

9月16日（水）　通常対応　短期入所・通所事業再開

【影響について】

（通所利用者のご家族）

・通所利用ができなくなり、仕事に支障が出た。集金業務ができなくなった

・年配のヘルパーから若いヘルパーに急に変わった。

・通所の営業停止のため自宅で介護することで仕事に出勤できなかった。

（職員）

・地域の目が気になり自宅に帰れなかった。

・祖母の入所ができなくなるかもしれないと入所先の事業所に言われたので不安。

・家族のディサービスの利用を自主的に控えた。

・妻の職場で急にサージカルマスクを使用された。

・陽性の方が増えれば仕事を休みたいと涙を流しながら希望された

・高齢者と一緒に住んできるので自宅に帰りたくない

・基礎疾患の家族がしばらく家に帰ってこなくていいと言われた。

・出産後の娘に会えていない。

（事業所）

・（隣接する特養）清風荘でヘルパーが施設内まで入ってこられないようになった。

❖課題など（気づいたこと）

・3 階以外の場所との温度差（特に館内職員間での情報共有）

・クラスターに対する不安。次に陽性者が出たらしばらく休ましてほしい。（涙ながらに）

・利用者（特に 3 階）の不安とストレスの解消　（支援員以外の職員で対応）

・医療機関の対応（コロナ以外の受診対応が困難であった。）

・平時からの感染症についての研修会の実施（ガウンテクニックなどの実技も含めて）

・平時からの協力医療機関との情報交換・意見交換の重要性が必要

・情報発信の仕方（ホームページ以外）正しい情報を常に最新にしておく。職員に対しても。

・帰宅困難職員への対応でゆたか会宿舎・清湖園 1 階通所「朝日」・清風荘 1 階ﾌﾘｰｽﾍﾟｰｽの部屋を宿泊施設として開放。

・利用者も職員もまずは濃厚接触者にならないような対応や支援方法を考える。

・食事でのアクリルボードの使用、飛まつの防止をする

２０２０年度　　ゆたか会事業報告　　**施設名　湖西総合在宅サービスセンターほろん**

【職員】常勤 23名・契約 2名・パートタイム4名・ 登録ヘルパー14名・その他３名

取組事項	実　施　状　況	
総括	コロナ禍の一年となり、４月には全国に発令された緊急事態宣言により２週間の在宅ワークを取り入れ職員の分散勤務を実施した。 各事業においても会議や行事の中止や延期が続いたが、７月頃より十分な感染予防対策を行ったうえで再開することができた。 ・感染予防対策：感染予防マニュアル作成、職員の検温とマスク着用、来訪者の健康チェック、衛生用品の確保、環境整備、十分な換気。 ・環境整備：拠点南出入口の雨よけ庇、３階網戸設置。桜町建物（3棟）の屋根の塗装、エアコンや加湿器、飛沫予防パネルの設置。施設内と車両においては光触媒を施工した。 ・防災関係：初期消火訓練、避難訓練（２回）、普通救命講習４名受講。	ダイトロン福祉財団補助金により避難用ストレッチャーを購入し、訓練も行った。 ・地域貢献等：西区サロン２回（３名）参加、西区一斉掃除中止。 ・要望等受付：８件の要望を受け付けた。利用者の小さな声にも拾い上げるよう意識した結果、全ての事業から要望を吸い上げ解決へと導いた。 ・ほろんテーマ「すべての壁をとっぱらえ」の活動方針である“各事業の理解”のため、月例会には各事業ごとの事業概要説明を順次行った。 ・施設外での業務や連絡調整が多い事業であるため、外出先からの情報共有やスケジュール管理ができるようグループウェアを導入し、支援体制を強化した。
障がい者社会参加促進事業	・今年度は、コロナ感染症予防対策のため、全国で緊急事態宣言が発令されたことから、4月・5月について事業の延期を行った。その後は県から出された感染症対策の指針に基づき、6月からは人数制限などの対策をしながら実施していった。対策のための補助金の支給もあったため、備品の購入や環境を整えることができ、感染予防に努めることができた。 ・例年に比べてイベントや教室は縮小したものとなったが、パソコン教室においては、新規受講生が7割(5/6人)あり、後の常時の教室につながった ・スポーツ、芸術活動においても諸行事を開催し、障がい者の社会参加を促し感染に留意しながら当事者団体とボランティアとの交流がはかれた。	・視覚障がい者の情報提供のため「広報たかしま」「議会だより」の点字、声の広報を定期的に発行。市議会議員一般選挙および市長選挙があり、選挙名簿の点訳を実施した。 ・音訳ボランティア養成講座については、視覚障害当事者が講師となり新しい受講生を募集し4人修了された。感染予防のためリモートを併用しながら実施した。 ・手話奉仕員養成事業(基礎編)では、正規のカリキュラムを基に開催し8名が受講し、6名の方に修了証を授与した。
働き・暮らし応援ｾﾝﾀｰ 就業・生活支援ｾﾝﾀｰ 被保護者等就労支援事業	・年度末に登録者の整理を行い370名の登録者となる。〔内訳：身体56名知的159名・精神112名・その他43名〕対象の方に対しての相談は総数で4,874件、支援件数全体でみると、前年より100件弱の減となった。 ・コロナ禍であり、実習は26件と前年度の約1/3件で　職場体験の機会を作ることに大変苦慮した。年間の就職者数は41人と前年度並みであった。 ・今年度は、コロナの影響で合同面接会が開催できず、各圏域単位での管理選考会が2回開催され、6社の応募があり求職者にとっては好機会とな	った。 ・一家丸ごと支援の必要なｹｰｽが顕著であり、関係機関の連携を強化した。 ・高島市と新たに委託業務契約を結び被保護者等就労支援事業を実施。 コロナの影響で通常と異なる支援が求められることとなった。 被保護者：支援対象者18名　一般就職３名　B型利用2名　相談件数442件 生活困窮自立相談：支援対象者26名　一般就職10名　相談件数774件
こころいちばん計画相談支援センター	・契約者数117名（計画58件、モニタリング344件、加算530件）40件/月を目標に取り組み、加算件数の増加に伴い増収となった。 ・新規契約者数：9名、終了者数：11名。 ・終了者の内、介護保険に移られた方が2名おられた。 ・障害福祉サービスの調整に加えて、転居される際の行政などの相談や食事の面での宅配サービスの利用についての相談も行った。	・相談支援専門員の資格取得を経て年度途中からは3名での支援ができた。 ・相談員のスキルアップについて、相談支援連絡会の場や、コンパスのアウトリーチ支援も活用する中で、困難ケースの相談も含め取り組めた。 ・モニタリングをする中で別の事業所を利用したい意向なども聞き、施設入所の調整や、他のB型事業所への調整をすることができた。
こころいちばん居宅介護支援センター	.・年度当初利用者数64名（要介護47名、要支援17名）、常勤換算2.2名でスタートし、コロナ禍の一年であったため、会議の自粛やテレワークも行いながら感染予防につとめた。マネジメントでは病院での面会の制限により利用者の聞き取り、状況が分かりにくい中での在宅でのサービス調整に苦戦しながらも多職種共同で取り組むことができた。 ・10月に北部地域の「あいりんつむぎ包括支援センター」ができたことにより今津・マキノ地域の要支援の利用者の引継ぎを5名行い、要介護利用者の担当を充実できるように調整した。	・訪問介護では早期に訪問調整が必要な利用者にこころいちばんホームヘルプとの情報共有と協力依頼を行い迅速に対応し本人や家族の安心を得ることができた。 ・介護ソフトカイポケの導入により、タブレットの活用にて訪問先からのサービス調整、写真、記録が可能となった。また、スケジュール管理のデスクネッツも確認できるようになり、公用車の使用調整やスケジュール管理が外出先から確認でき、業務時間の短縮につながった。 ・増え続ける認知症・独居・世帯が抱える深刻な課題に直面するケースに今後もネットワークを活用しながら協力体制のもと対応していく。
こころいちばんホームヘルプサービス	ヘルパーの異動や退職により新規利用者を増やすことが困難となり、契約中の利用者への支援の継続に力を入れる一年となった。同時にヘルパーの増員に向け他施設との兼務や初任者研修受講後採用につながるよう、人材確保に努めた。 ・ヒヤリハットや事故報告は、訪問忘れや間違いが最も多く、次いで物品設備の取り扱い、服薬ミスという結果になった。 ・要望受け付け１件。設備や物品の取り扱いについてであり、慎重な支援が求められる。受付件数が少なく、今後も利用者の声を積極的に吸い上げ	ていく必要がある。 ・介護ソフトの更新を行った。カイポケの導入により、シフト管理から計画書作成や実績管理、請求までの一連の流れが可能になった。また、スマホからの確認や訪問記録が可能となったので、出先からの入力もでき業務時間短縮となった。 ・年間研修計画にそって全ヘルパーが研修を受ける体制をとり質の向上に努め、月１回の会議を行うことにより情報交換やケアの統一を図った。
わーくる夢 ・就労移行支援（定員８名） ・就労継続支援B型（定員３２名） ・就労定着支援	年度当初、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、B型はグループ別での通所、就労移行は休業といった対応を4月27日～5月6日の期間で行った。また、9月からは一時的に B型を2か所（旧ほろんを利用）で実施、併せて補助金を活用しアクリル板を設置するなど、感染予防に努めながら事業を実施した。 【就労継続支援B型】 清風荘の洗濯場への施設外訓練に入ることになり、より企業就労を意識した支援ができるようになった。コロナ感染予防にかかるフェイスガードや防護服作成の依頼を受け、コロナ禍での工賃保証をすることができた。 月額平均工賃は昨年度より1,840円減の16,559円となった。 新規利用者3名、退所者2名の入れ替わりがあったが、平均利用者数は19.6人。土曜日の開所も継続する中で、利用者数を増やすことができた。	【就労移行支援】 新規利用者5名、退所者4名の入れ替わりがあったが、年間を通しての平均利用者数／日は3.9人となった。就労意欲が薄く退所される方がおられる一方で、離職された後、次の就労を思い利用を開始される方もおられた。 ・利用中の金銭の盗難について利用者からの申し出があり、警察へ届出等を行い速やかな対応ができた。 【就労定着支援】 今年度は新規の利用者が1名おられた。昨年度から引き続き利用をされている方については８名のうち2名の方が離職された。 支援を継続中の方の中に最賃除外の制度を利用しての就労となっている方があり、採用面接の情報提供や同行など転職の支援を実施した。

2020 年度　事業報告　　施設名：わーくる夢

事業名：就労継続支援 B 型（定員 32 名）

年間開所日：259 日　利用者総数：5071 人　年間利用率：61.3%　1 日平均：19.6 人

【利用者の状況】

障害種別	
身体	10 人
知的	11 人
精神	3 人
発達	0 人
その他	0 人

年代別	
10 代	1 人
20 代	4 人
30 代	1 人
40 代	6 人
50 代	6 人
60 代	3 人
70 代	3 人

男女比率	
男性	11 人
女性	13 人

地域別	
マキノ	1 人
今津	7 人
新旭	5 人
安曇川	4 人
朽木	2 人
高島	4 人
市外	1 人

契約年数	
1 年未満	3 人
2 年未満	1 人
3 年未満	3 人
3 年以上	17 人

【利用者工賃】

種　別	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	計
売　上	518,696	354,529	433,041	429,180	411,503	454,423	442,521	518,662	410,718	472,107	341,733	639,171	5,426,284
経　費	103,653	2,625	50,319	42,044	22,126	85,451	40,271	30,638	65,924	68,030	15,724	84,080	610,885
工　賃	415,043	351,904	382,722	387,136	389,377	368,972	402,250	488,024	344,794	404,077	326,009	555,091	4,815,399
平均工賃	18,045	15,300	16,640	16,815	15,766	14,759	16,090	19,521	13,711	16,163	13,040	23,129	16,559

事業名：就労移行支援（定員 8 名）

【利用者の状況】

障害種別	
身体	0 人
知的	3 人
精神	4 人
発達	0 人
その他	0 人

年代別	
10 代	0 人
20 代	1 人
30 代	3 人
40 代	1 人
50 代	1 人
60 代	0 人

男女比率	
男性	5 人
女性	2 人

地域別	
マキノ	0 人
今津	1 人
新旭	5 人
安曇川	0 人
朽木	0 人
高島	1 人
市外	0 人

種別	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	計
開所日	23	20	22	23	20	22	23	22	21	21	20	23	260
契約利用者	6	5	7	8	8	7	5	5	4	5	5	6	71
延利用者数	87	72	82	82	86	73	86	81	73	85	90	114	1011
平均（人/日）	3.8	3.6	3.8	3.6	4.3	3.4	3.8	3.7	3.5	4.1	4.5	5.0	3.9
利用率（%）	47.5	45.0	47.5	45.0	53.8	42.5	47.5	46.3	43.8	51.3	56.3	62.5	48.8

事業名：就労定着支援

【利用契約者】6 名

障害種別	年代	性別	地域	業種
知的障害	40 代	男性	今津	福祉
知的障害	20 代	男性	新旭	製造業
知的障害	44 代	男性	新旭	製造業
知的障害	30 代	男性	今津	製造業
精神障害	40 代	男性	今津	事務
精神障害	40 代	男性	安曇川	清掃

2020年度　社会参加促進事業報告書

[地域生活支援事業]

1.生活訓練事業

・作業療法・音楽療法は1人単位で契約

・コミュニケーションに関する訓練は1回単位で契約

1	作業療法士	訓練回数	8回	参加人数	8人
2	音楽療法士	訓練回数	24回	参加人数	24人
3	ピアカウンセラー	訓練回数	20回	参加人数	20人
4	支援員(手話通訳者)	訓練回数	250回	参加人数	23人
5	指導員(事業計画)	訓練回数	250回	参加人数	随時
6	パソコンエンジニア	訓練回数	12回	参加人数	6人

2. 福祉機器リサイクル事業

車椅子、歩行器、ポータブルトイレ、シャワーチェア等の授受	リサイクル実績	18件

3. 点字・声の広報等発行事業

1	点字広報(点訳・点字印刷・製本)	広報たかしま (5～4月号)	12回
		議会だより (74,75,76,77号)	4回
2	声の広報(デイジー録音・編集・ダビング)	広報たかしま (5～4月号)	12回
		議会だより (74,75,76,77号)	4回

[スポーツ、芸術活動等振興事業]

○スポーツ・レクリエーション教室開催等事業

1	ﾌﾟﾘｻﾞｰﾌﾞﾄﾞﾌﾗﾜｰ教室(7/26)	訓練日数	1日	参加人数	14人
2	水泳教室(7・8・9月)	開催日数	6日	参加人数	延べ25人
3	レクリェーション祭り(10/24)	開催日数	1日	参加人数	16人
4	ボッチャ練習会(11/28)	開催日数	1日	参加人数	5人
5	ヨガ教室(11/28)	開催日数	1日	参加人数	6人
6	ｸﾞﾗｳﾝﾄﾞｺﾞﾙﾌ秋季大会(11/30)	開催日数	1日	参加人数	9人(16人)
7	パソコン教室(10・11・12月)	開催日数	6日	参加人数	延べ35人

障害者就業・生活支援センター事業
働き・暮らし応援センター事業
雇用安定等事業

2020年度 事業報告 別紙

◆障害種別・就業状況別の支援対象障害者（登録者）数（人）　（令和2年4月1日～令和3年3月31日）

	身体障害	知的障害	精神障害	その他	合　計
企業・一般就労	30	104	48	24	206
求職中	18	41	48	16	123
その他	8	14	16	3	41
（うち期間の新規登録者）	(3)	(7)	(9)	(8)	(27)
合　計	56	159	112	43	370

◆就職及び離職、実習件数 （件）

	身体障害	知的障害	精神障害	その他	合　計
就　職	1	12	7	5	25
求　職	1	6	8	4	19
実　習	0	15	5	5	25

※離職（契約期間満了の離職、転職による離職も含む）

※実習（2日以下、委託訓練含む）

【個別支援】

【個別支援】 支援項目	支援対象者障害種別				延べ回数
	身体障害	知的障害	精神障害	その他	
就職に向けた支援	127	645	410	194	1,376
職場定着に向けた支援	97	942	878	121	2,038
日常生活・地域生活に関する支援	26	506	201	43	776
就業と生活の両方にわたる支援	40	363	223	58	684
合計　（4874件）	**290**	**2,456**	**1,712**	**416**	**4,874**

【個別支援】

【個別支援】 支援方法	支援対象者障害種別				延べ回数
	身体障害	知的障害	精神障害	その他	
来所	26	316	224	57	623
電話（メール・Fax含む）	185	1,394	1,076	230	2,885
職場訪問（定着支援）	35	392	225	58	710
職場開拓（個別支援）	2	96	35	37	170
家庭訪問	12	43	25	5	85
他機関への訪問・調整（個別ケース会議含む）	30	215	127	29	401
合計	**290**	**2,456**	**1,712**	**416**	**4,874**

※電話に含まれるメールでのやり取りも多い

※他機関への訪問・調整については、関係機関（相談センター・ハローワーク・職業訓練センター他）や地域内施設等

こころいちばん計画相談支援センター　2020年度事業報告

計画作成（件数）

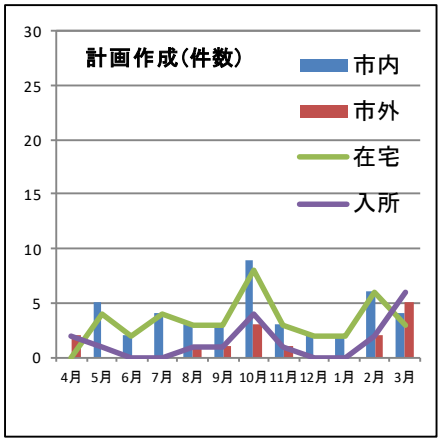
	市内	市外	計	在宅	入所	計
4月	0	2	2	0	2	2
5月	5	0	5	4	1	5
6月	2	0	2	2	0	2
7月	4	0	4	4	0	4
8月	3	1	4	3	1	4
9月	3	1	4	3	1	4
10月	9	3	12	8	4	12
11月	3	1	4	3	1	4
12月	2	0	2	2	0	2
1月	2	0	2	2	0	2
2月	6	2	8	6	2	8
3月	4	5	9	3	6	9
計		小計	58		小計	58

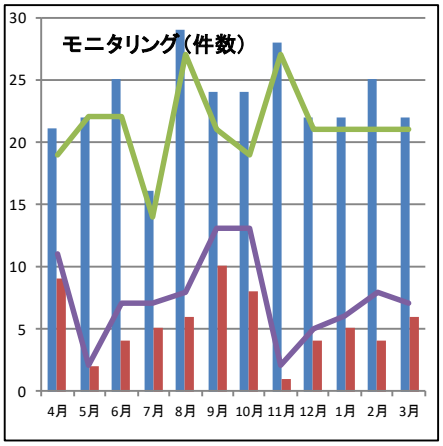
モニタリング（件数）

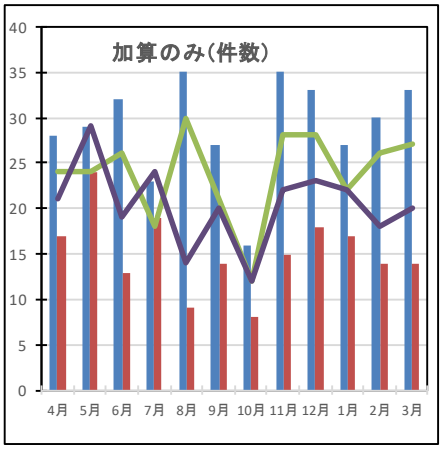
	市内	市外	計	在宅	入所	計
4月	21	9	30	19	11	30
5月	22	2	24	22	2	24
6月	25	4	29	22	7	29
7月	16	5	21	14	7	21
8月	29	6	35	27	8	35
9月	24	10	34	21	13	34
10月	24	8	32	19	13	32
11月	28	1	29	27	2	29
12月	22	4	26	21	5	26
1月	22	5	27	21	6	27
2月	25	4	29	21	8	29
3月	22	6	28	21	7	28
計		小計	344		小計	344

加算のみ（件数）

	市内	市外	計	在宅	入所	計
4月	28	17	45	24	21	45
5月	29	24	53	24	29	53
6月	32	13	45	26	19	45
7月	23	19	42	18	24	42
8月	35	9	44	30	14	44
9月	27	14	41	21	20	41
10月	16	8	24	12	12	24
11月	35	15	50	28	22	50
12月	33	18	51	28	23	51
1月	27	17	44	22	22	44
2月	30	14	44	26	18	44
3月	33	14	47	27	20	47
計		小計	530		小計	530







計画作成の報酬

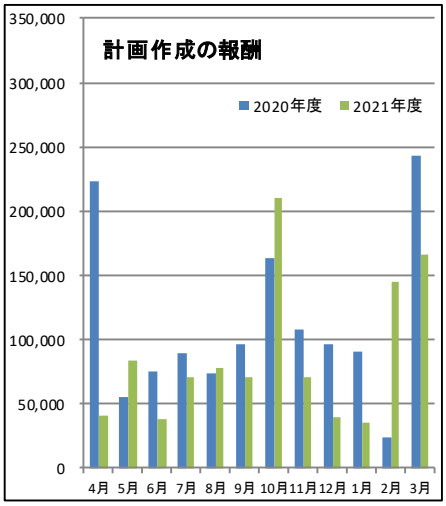
	2020年度	2021年度
4月	223,808	40,332
5月	55,794	84,279
6月	74,392	38,103
7月	89,552	70,923
8月	73,181	77,224
9月	96,052	71,116
10月	163,293	210,436
11月	108,201	70,098
12月	96,249	39,121
1月	90,966	35,049
2月	24,397	144,268
3月	243,597	166,154
合計	1,339,482	1,047,103

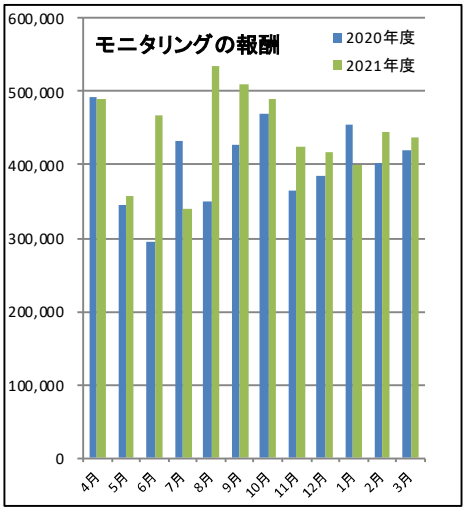
モニタリングの報酬

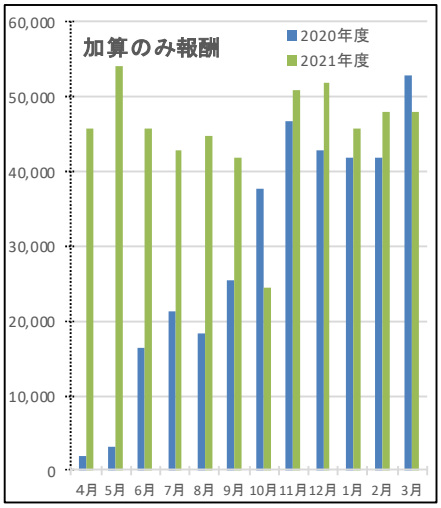
	2020年度	2021年度
4月	491,888	490,976
5月	345,740	356,585
6月	294,256	466,534
7月	432,988	340,046
8月	350,006	534,969
9月	426,437	509,949
10月	470,240	489,550
11月	363,997	425,855
12月	384,293	417,743
1月	454,533	400,000
2月	401,853	445,666
3月	419,413	436,537
合計	4,835,644	5,314,410

加算のみ報酬

	2020年度	2021年度
4月	2,032	45,810
5月	3,054	53,954
6月	16,288	45,810
7月	21,378	42,756
8月	18,324	44,792
9月	25,450	41,738
10月	37,666	24,432
11月	46,828	50,900
12月	42,756	51,918
1月	41,738	45,810
2月	41,738	47,846
3月	52,936	47,846
合計	350,188	543,612



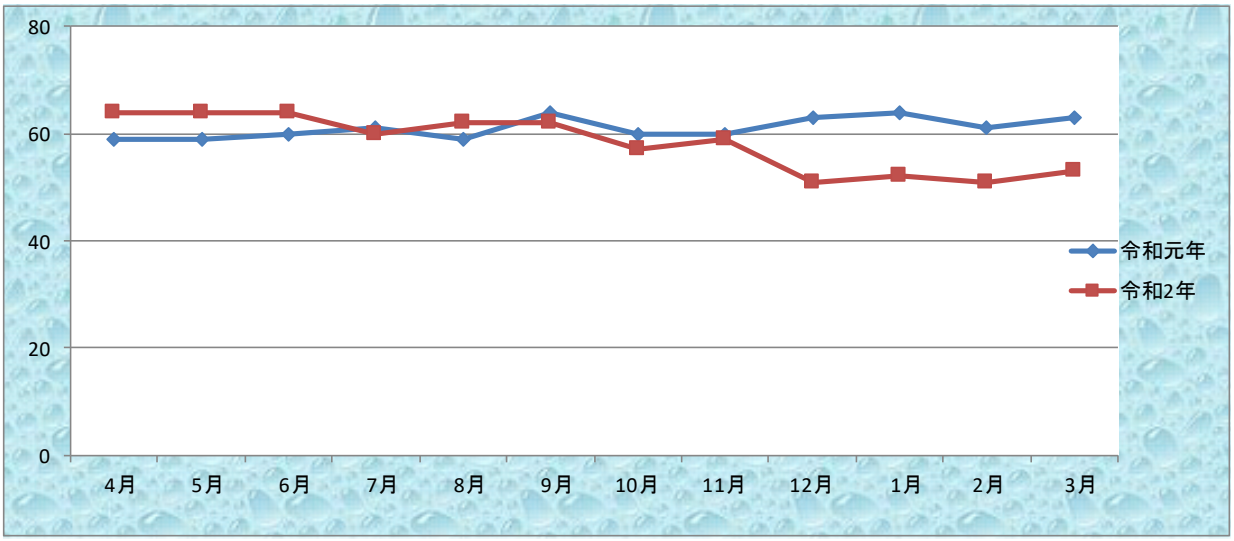




2020年度　こころいちばん居宅介護支援センター事業報告

要介護度別月別プラン作成人数

要介護度	要支援 1･2		要介護1		要介護2		要介護3		要介護4		要介護5		合計	
月	令和元年	令和2年	令和元年	令和2年	令和元年	令和2年	令和元年	令和2年	令和元年	令和2年	令和元年	令和2年	令和元年	令和2年
4月	18	17	17	19	14	13	6	7	4	7	0	1	59	64
5月	18	17	18	20	13	13	7	7	4	7	0	0	59	64
6月	19	17	17	20	13	14	8	7	3	6	0	0	60	64
7月	20	15	16	20	14	13	8	8	3	4	0	0	61	60
8月	18	15	15	19	14	14	9	7	3	7	0	0	59	62
9月	18	14	15	21	15	13	9	7	5	7	2	0	64	62
10月	17	10	14	23	15	12	8	7	5	5	1	0	60	57
11月	17	11	16	24	15	12	8	7	4	5	0	0	60	59
12月	15	9	17	21	15	11	9	7	7	3	0	0	63	51
1月	16	9	18	20	14	11	8	7	8	5	0	0	64	52
2月	16	10	18	18	13	13	7	5	7	5	0	0	61	51
3月	17	10	18	21	12	12	9	5	7	5	0	0	63	53
合計	209	154	199	246	167	151	96	81	60	66	3	1	733	699



月別福祉用具レンタル及び購入件数･住宅改修件数

	福祉用具レンタル		福祉用具購入		住宅改修	
	令和元年	令和2年	令和元年	令和2年	令和元年	令和2年
4月	48	46	0	0	0	1
5月	48	45	0	0	1	1
6月	47	45	0	1	1	0
7月	49	42	0	0	0	2
8月	50	48	1	0	0	0
9月	50	41	0	0	0	0
10月	49	36	1	0	0	0
11月	46	41	1	0	1	1
12月	49	38	0	0	0	0
1月	45	40	0	0	1	0
2月	44	37	0	0	1	0
3月	44	41	1	0	1	1
合計	569	500	4	1	6	6

（件）

サービス担当者会議件数
その他の相談業務件数

	担当者会議		その他相談業務	
	令和元年	令和2年	令和元年	令和2年
4月	8	0	24	66
5月	7	2	32	58
6月	4	5	22	30
7月	7	7	30	44
8月	7	4	24	21
9月	9	1	26	12
10月	3	2	30	31
11月	7	2	40	27
12月	5	2	25	30
1月	5	4	34	25
2月	5	2	17	30
3月	1	7	50	24
合計	60	38	354	398

（件）

令和2年上半期は担当利用者64名でスタートした。コロナ禍でサービス担当者会議を自粛し、文書照会や聞き取りで調整。家族の熱発時のサービス調整（通所や短期入所）、利用者にアベノマスク配布を行った。ケアマネの基礎研修やケアマネ協の開催等も中止になり、事業所内での課題の共有、法人の協力のもと解決策を探ることが多かった。マネジメントとしては退院時や状況変化時に、本人への面会制限もあり他事業所との情報共有が困難だった。またコロナによる介護保険の事業所加算が利用者の負担を圧迫し、自費の発生や、事業所が加算を断念されたケースもあった。ケアプランでは、支援困難ケースや生活援助が多いケース、不適切なケアのケース等、地域包括支援課協力のもと、長寿介護課とも相談し対応した。2月に市内のケアマネ（居宅･小規模）、包括参加の事例検討会で利用者の支援の方法、課題、対処視点を共有出来た。今後担当ケースを増やしながらケアマネ自身のメンタルケアをしつつ、チームで支えられるよう多職種連携により一層取り組んでいく。

2020年度　こころいちばんホームヘルプサービス事業報告

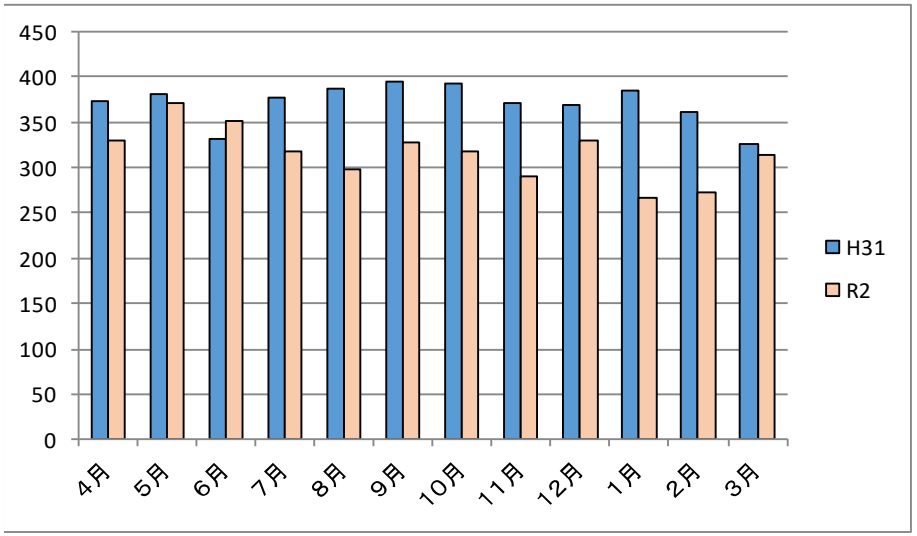
（単位・時間）

	平成31年度介護保険実績			令和2年度介護保険実績		
月	実人数	H31 身体介護 利用時間	H31 生活支援 利用時間	実人数	R2 身体介護 利用時間	R2 生活支援 利用時間
4月	40	373	128	42	329	145
5月	42	382	172	42	371	140
6月	42	332	160	44	352	140
7月	44	378	174	43	318	164
8月	44	388	161	44	299	141
9月	44	395	155	43	327	162
10月	43	393	171	41	319	173
11月	44	371	169	41	290	158
12月	38	370	134	39	330	162
1月	42	386	172	41	266	214
2月	48	361	168	40	273	235
3月	45	326	128	44	314	262
合計	516	4455	1892	504	3788	2096

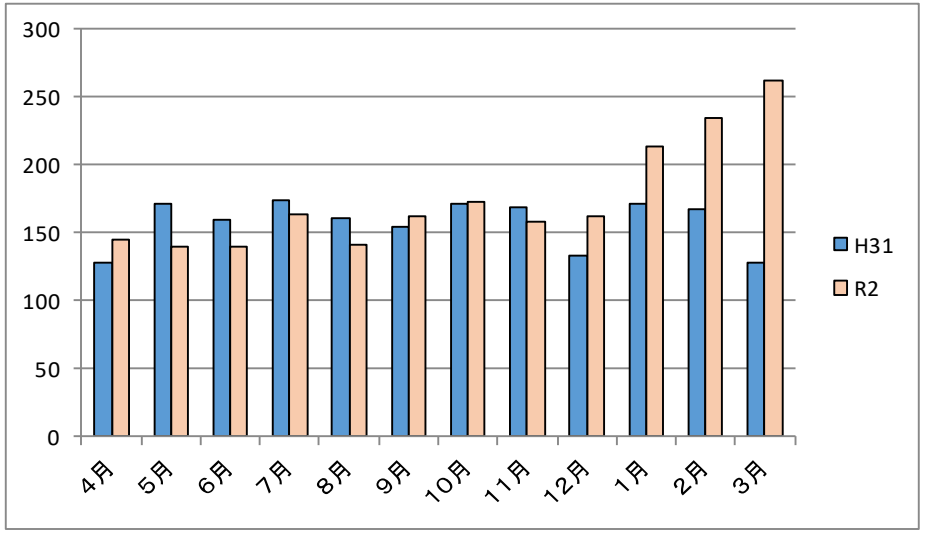
（単位・時間）

	平成31年度支援費実績					令和2年度支援費実績				
月	実人数	H31 身体介護 利用時間	H31 生活支援 利用時間	H31 同行援護 利用時間	H31 移動支援 利用時間	実人数	R2 身体介護 利用時間	R2 生活支援 利用時間	R2 同行援護 利用時間	R2 移動支援 利用時間
4月	20	276	14	35	30	17	242	17	6	25
5月	26	306	22	34	65	15	269	17	5	7
6月	21	269	15	34	38	21	282	19	24	25
7月	26	290	17	59	79	20	301	17	14	13
8月	20	293	15	26	23	21	337	18	13	22
9月	21	280	16	57	47	16	311	14	9	13
10月	21	279	17	50	47	20	331	17	14	24
11月	25	267	23	82	63	20	321	11	13	14
12月	22	270	18	25	85	16	320	6	14	15
1月	18	267	22	27	20	17	301	5	16	9
2月	19	247	16	11	17	14	270	5	6	15
3月	21	284	20	28	20	16	323	4	22	13
合計	260	3328	215	468	534	213	3608	150	156	195

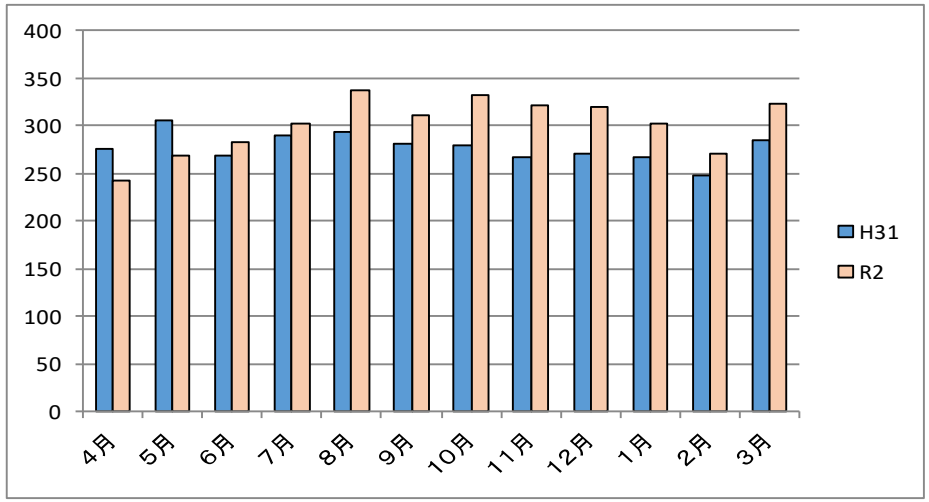
介護保険（身体介護）



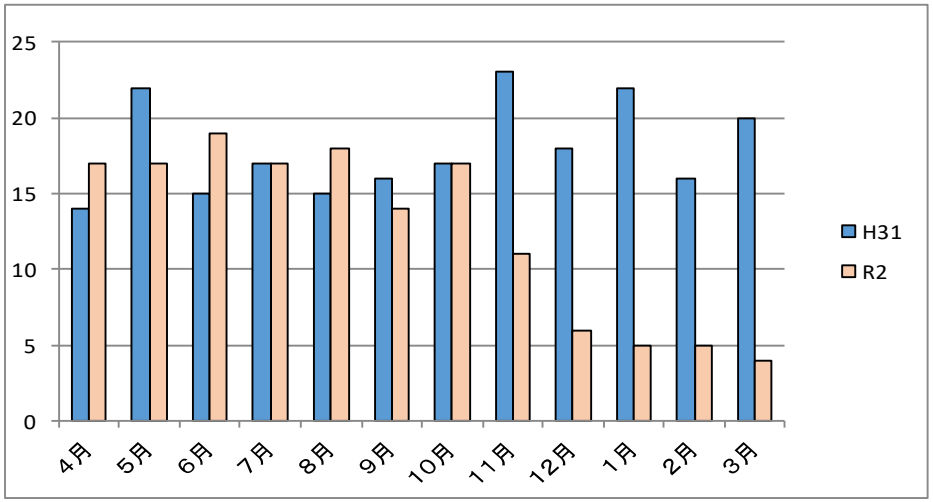
介護保険（生活支援）



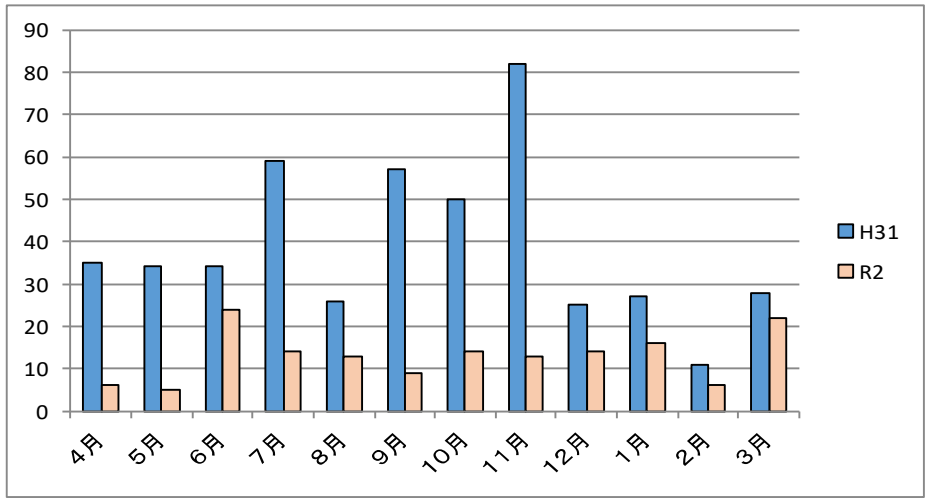
支援費（身体介護）



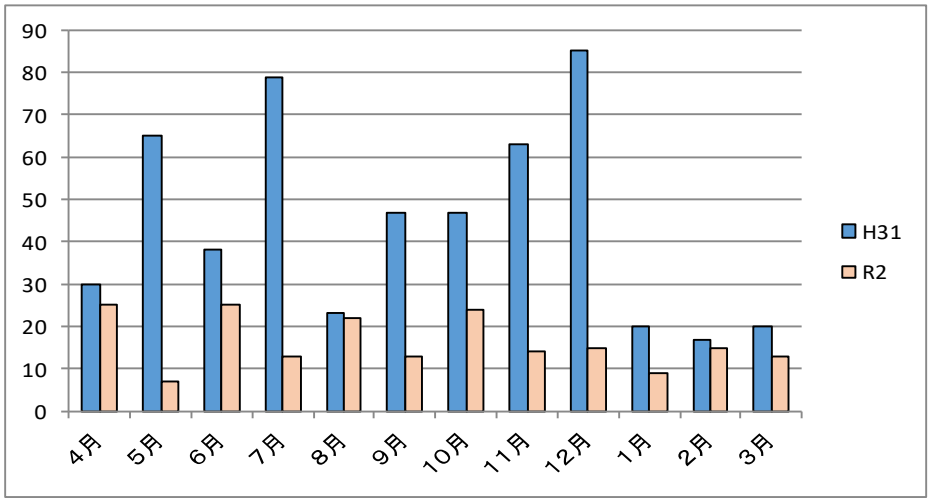
支援費（生活支援）



支援費（同行援護）



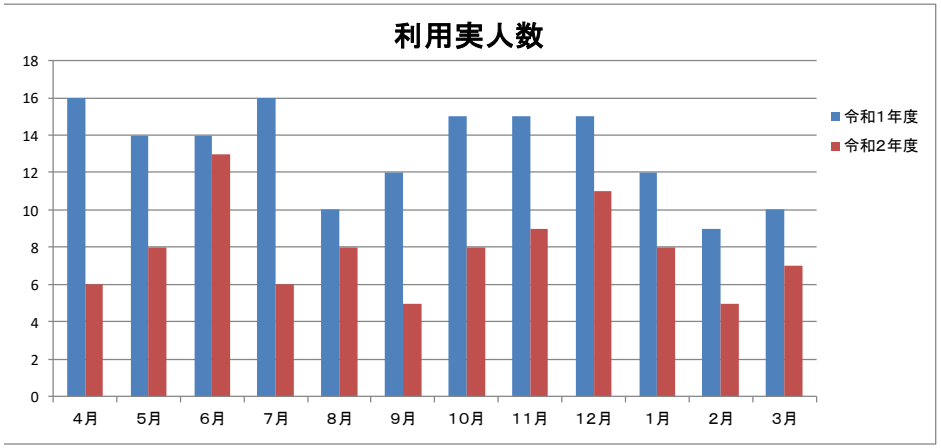
支援費（移動支援）

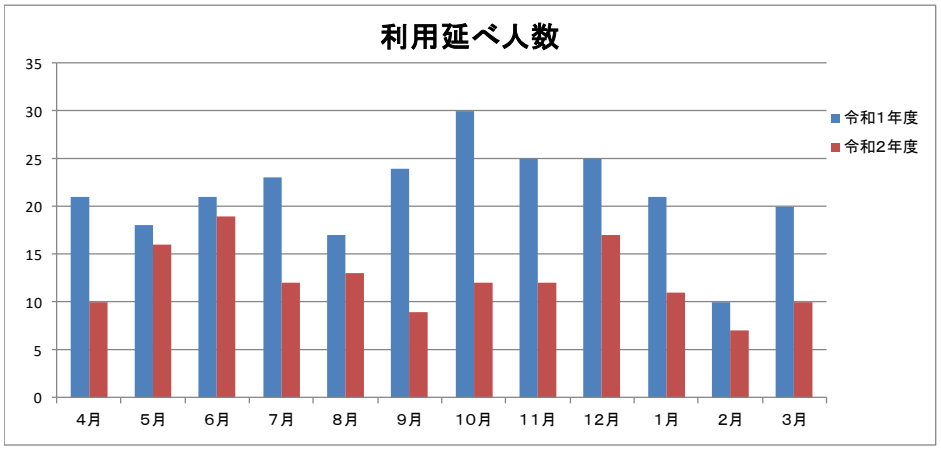


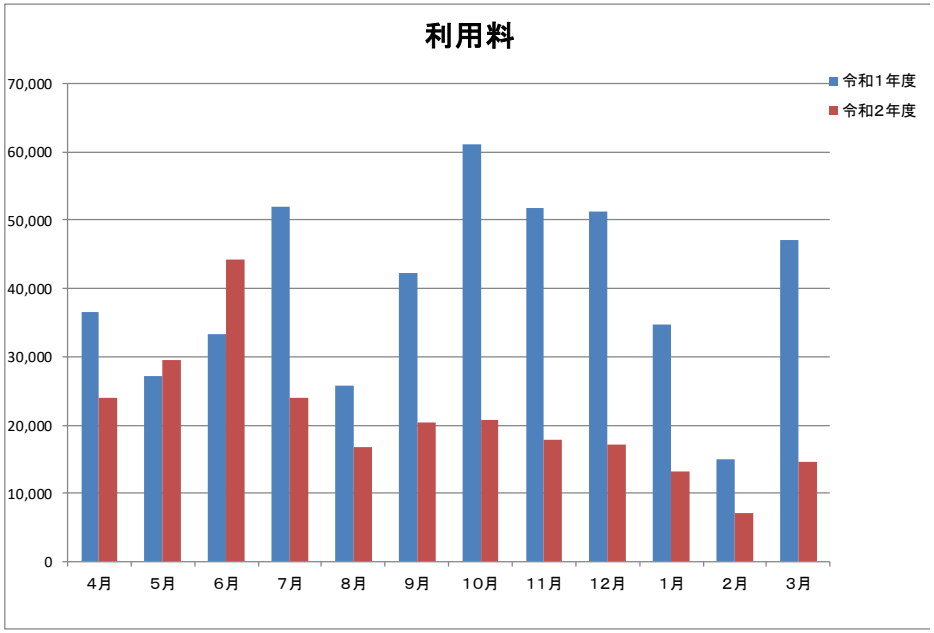
２０１９年度から利用人数が減少傾向となっている。市内全域で訪問介護が不足し新規の問い合わせもあったが、受け入れは難しく職員の途中退職もあり利用人数を増やすことは困難、現状維持に努めることとなった。総合的には、老人と障がいのサービスにおいて、例年であると介護保険サービスの割合の方が多く実績として現れるが、今年度については障害福祉サービスと介護保険サービスの利用割合が逆転し、収入においても増収となった。
障がい福祉サービスについては、一日に複数回利用されることや、長期にわたり利用される利用者が増えてきている。しかし、移動支援や同行援護については、新型コロナウィルス感染拡大により、外出される利用者が激減している。清湖園入居者の遠方への外出が一年を通して利用がなく、実績に大きく影響していることに加え、コロナ禍において利用者の楽しみがなくなってしまっているという現実がグラフに表されている。
介護保険サービスについては、要介護認定更新により要介護度が下がり生活援助が増えた利用者が数名あり１月から３月の生活援助の増加に至った。

2020年度　福祉有償運送　別紙（前年度 比較表）

	年　度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
実人数	令和1年度	16	14	14	16	10	12	15	15	15	12	9	10	158
	令和2年度	6	8	13	6	8	5	8	9	11	8	5	7	94
延べ人数	年　度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
	令和1年度	21	18	21	23	17	24	30	25	25	21	10	20	255
	令和2年度	10	16	19	12	13	9	12	12	17	11	7	10	148
利用料	年　度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
	令和1年度	36,600	27,200	33,300	51,900	25,800	42,200	61,200	51,800	51,200	34,800	14,900	47,200	478,100
	令和2年度	23,900	29,600	44,200	24,000	16,800	20,400	20,700	17,900	17,200	13,200	7,100	14,600	249,600







新型コロナウィルス感染予防のためたくさんの行事が中止となり、また外出を自粛される利用者も増加。利用目的は病院受診がほとんどとなり、例年の半数の利用となった。登録者が安心して利用できるよう、車両の光触媒施行を行った。運転協力者研修に3名受講、年度末には事業の更新申請を行い、更に3年間の登録を行った。